

注3

大学番号：私554

[平成21年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

届出

西日本工業大学 工学部 総合システム工学科
デジタルエンジニアリング学科
注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 西日本工業学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 室長 シオツカ塩塚 ヒロノリ祐載

電話番号 0930-23-7956

（夜間） 090-4992-5112

F A X 0930-24-7900

e-mail shiotsuka@nishitech.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	P 1
2	授業科目の概要	P 6
3	施設・設備の整備状況、経費	P 17
4	既設大学等の状況	P 18
5	教員組織の状況	P 19
6	留意事項に対する履行状況等	P 36
7	その他全般的事項	P 37
	(添付資料)	
	設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見	P 41
	西日本工業大学自己点検・評価規程	P 43
	西日本工業大学ファカルティ・デベロップメント委員会規則	P 47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 西日本工業学園

(2) 大学名

西日本工業大学

(3) 大学の位置

〒800-0394
福岡県京都郡苅田町新津一丁目11番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(シカダ マキ) 鹿田 磨樹 (平成20年3月)		
学長	(サカモト マサフミ) 坂本 正史 (平成14年4月)	(キクチ シゲアキ) 菊池 重昭 (平成21年4月)	退任に伴い変更(21)
学部長	(ヨシナガ トシオ) 吉永 俊雄 (平成20年4月)	(サカタ ユタカ) 坂田 豊 (平成22年4月)	任期満了に伴い変更(22)
学科長等	(オオキ マサヒコ) 大木 正彦 (平成21年4月)		
学科長等	(サカタ ユタカ) 坂田 豊 (平成21年4月)	(カミジョウ ケイスケ) 上條 恵右 (平成22年4月)	任期満了による変更(22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	年次人	人	
総合システム工学科 学士(工学)	4	165	3年次 4	668	
デジタルエンジニアリング学科 学士(工学)	4	75	3年次 2	304	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

〈総合システム工学科〉

区分	対象年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.08倍	
	(165)	()	(165)	()	(165)	()	()	()	()	()		
	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	(220)	()	(291)	()	(283)	()	()	()	()	()		
	[47]	[]	[47]	[]	[31]	[]	[]	[]	[]	[]		
受験者数	(218)	()	(287)	()	(281)	()	()	()	()	()		
	[47]	[]	[46]	[]	[30]	[]	[]	[]	[]	[]		
合格者数	(215)	()	(273)	()	(271)	()	()	()	()	()		
	[44]	[]	[38]	[]	[26]	[]	[]	[]	[]	[]		
B 入学者数	(142)	()	(204)	()	(191)	()	()	()	()	()		
	[40]	[]	[34]	[]	[25]	[]	[]	[]	[]	[]		
入学定員超過率 B/A	0.86		1.23		1.15							

〈デジタルエンジニアリング学科〉

区分	対象年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	0.65倍	
	(75)	()	(75)	()	(75)	()	()	()	()	()		
	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	(66)	()	(61)	(1)	(57)	()	()	()	()	()		
	[20]	[]	[22]	[1]	[20]	[]	[]	[]	[]	[]		
受験者数	(65)	()	(60)	(1)	(54)	()	()	()	()	()		
	[20]	[]	[22]	[1]	[19]	[]	[]	[]	[]	[]		
合格者数	(62)	()	(60)	(1)	(52)	()	()	()	()	()		
	[18]	[]	[22]	[1]	[18]	[]	[]	[]	[]	[]		
B 入学者数	(52)	()	(60)	(1)	(45)	()	()	()	()	()		
	[18]	[]	[22]	[1]	[16]	[]	[]	[]	[]	[]		
入学定員超過率 B/A	0.69		0.66		0.60							

- (注)・()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

〈総合システム工学科〉

学 年	対象年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[40] 142	[-]	[34] 204	[-]	[25] 191	[-]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[43] 144	[-]	[43] 208	[-]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		/		[40] 139	[-]	[]	[]	[]
4年次	/						/		/		[]
計			[40] 142		[77] 348						[108] 538

〈デジタルエンジニアリング学科〉

学 年	対象年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[17] 52	[-]	[22] 50	[1] 1	[16] 46	[-]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[17] 53	[-]	[21] 48	[-]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		/		[17] 52	[-]	[]	[]	[]
4年次	/						/		/		[]
計			[17] 52		[40] 104						[54] 146

- (注)・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況
(総合システム工学科)

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 1 []	(累積)計 142 [40]	0.70%
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 142人	
	(主な退学理由) ・経済的理由 1名		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 7 []	(累積)計 347 [77]	2.02%
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 141人	
	うち平成22年度入学者 4人	うち平成22年度 204人	
	(主な退学理由) ・経済的理由 1名 ・進路変更 5名 ・一身上の都合 1名		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 0 []	(累積)計 529 [108]	0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 138人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 200人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 191人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下
 - ・学力不足
 - ・他の教育機関への入学・転学
 - ・海外留学
 - ・就職
 - ・学生個人の心身に関する事情
 - ・家庭の事情
 - ・除籍
 - ・その他

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況
 (デジタルエンジニアリング学科)

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 0 []	(累積) 計 52 [17]	0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 52人	
(主な退学理由)			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 0 []	(累積) 計 103 [40]	0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 52人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 51人	
(主な退学理由)			
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 1 []	(累積) 計 149 [54]	0.67%
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 52人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 51人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 46人	
(主な退学理由) ・進路変更 1名			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 総合システム工学科>

(1) 授業科目表

※「*」は留学生対象科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 共通 科目	総合人間科学	1前	2			4		1			クラス分けのため担当者追加(22) 専任から兼任に変更(23)
	総合社会科学	1後	2			1					兼任から専任に変更(22)
	人間・社会科学系科目 歴史学	2前		2		1					
	情報メディア論	2後		2							
	日本国憲法	2前		2							
	健康科学	2後		2			+	+			担当者が講師から准教授に昇任(22) 担当者退職のため兼任に変更(23)
	人間関係論	2前		2				1			兼任から専任に変更(22)
	体育 I	1前		1			+	+			担当者が講師から准教授に昇任(22) 担当者退職のため兼任に変更(23)
	体育 II	1後		1			+	+			担当者が講師から准教授に昇任(22) 担当者退職のため兼任に変更(23)
	日本文化と社会	1前	2*			+					担当教員退職後兼任講師に変更(21)
	日本事情とビジネス	1後	2*			1					兼任から専任に変更(22)
	英語 A	1前		2			1	1			クラス分けのため担当者追加(21)
	総合英語 I	1前	2				1	1			クラス分けのため担当者追加(21)
	総合英語 II	1後	2				1	1			クラス分けのため担当者追加(22)
	総合英語 III	2前		2			1				クラス分けのため担当者追加(23)
	英会話 I	2後		2							
	英会話 II	3前		2							
	日本語 I	1前	2*								
	日本語 II	1後	2*								
	日本語演習 I	1前	1*								
日本語演習 II	1後	1*									
日本語演習 III	2後	1*									
総合教育系科目	キャリアガイダンス I	1前	1			4					クラス分けのため担当者追加(21)
キャリアガイダンス II	1後	1			4	2	1	1		クラス分けのため担当者追加(21)	
キャリアガイダンス III	2前	1			2	+	1			クラス分けのため担当者追加(21)	
キャリアガイダンス IV	2後	1			4	2	1	1		より適任の教員に変更(22)	
キャリアガイダンス V	3前		1		3	1				クラス分けのため担当者追加(21)	
学部 共通 科目	現代科学入門	1前	2			4					担当の専任教員が兼任教員に変更(21) 担当を兼任から専任に変更(22)
基礎数理学	1前		4			+		1			より適任の教員に変更(21) より適任の教員に変更(22) より適任の教員に変更(23)
統合理工学 I	1前		2			+			1		担当の専任教員が兼任教員に変更(21)
統合理工学 II	1後		2			+					担当の専任教員が兼任教員に変更(21)
線形数学 I	1前		2			+			1		クラス分けのため担当者追加(23)
線形数学 II	1後		2			1					
解析学 I	1後		2			2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	解析学Ⅰ 演習	1後		2		1 1		1 1			1名を、より適任の教員に変更(21) クラス分けのため担当者追加(23)		
	解析学Ⅱ	2前		2		1		1			1名を、より適任の教員に変更(21)		
	統計学Ⅰ	2前		2		+			1		担当教員退職後兼任講師に変更(21) 担当を兼任から専任に変更(22) 担当を専任から兼任に変更(23)		
	応用数学Ⅰ	3前		2		1					より適任の教員に変更(21)		
	情報処理基礎	1前		2		1	1				より適任の教員に変更(21)		
	基礎プログラミング	1後	2			1					より適任の教員に変更(21)		
	数値解析	2後		2		2					より適任の教員に変更(22)		
	環境学概論	1前	2			+	+				より適任の教員に変更(21)		
	環境と技術－技術者倫理－	1後		2		2					より適任の教員に変更(22)		
	資源エネルギー	1後		2		1							
	環境と情報	2前		2									
	環境デザイン	2前		2		1		+	2		より適任の教員に変更(21) より適任の教員に変更(22)		
	環境と企業	2後		2									
	環境と法	2後		2									
	プロジェクトⅠ	1前		1		2							
	プロジェクトⅡ	1後		1		5	1	2			クラス分けのため担当者追加(21)		
	プロジェクトⅢ	2前		1		1	1				クラス分けのため担当者追加(21)		
	プロジェクトⅣ	2後		1		2		1			クラス分けのため担当者追加(21)		
専 門 科 目	共 通 科 目	工学概説	1前	2		3 5 5	+	2 2				講義内容充実のため担当者追加(21) 講義内容充実のため担当者追加(22)	
		代数学Ⅰ	2前	2		+		1				より適任の教員に変更(21)	
		代数学Ⅱ	2後	2		1		1	1			クラス分けのため担当者追加(22) より適任の教員に変更(21)	
		幾何学Ⅰ	2前	2		1				1		より適任の教員に変更(23)	
		幾何学Ⅱ	2後	2		1				1		より適任の教員に変更(23)	
		幾何学Ⅲ	3前	2		1				1		より適任の教員に変更(23)	
		幾何学Ⅳ	3後	2		1							
		統計学Ⅱ	2後	2		+				1		担当教員退職後兼任講師に変更(21) 担当を兼任から専任に変更(22) 専任から兼任に変更(23)	
		解析学Ⅲ	3前	2		1							
		応用数学Ⅱ	3後	2		1							
		システム工学 ゼミナール	3後	1			+	3	2				
		企業実習	3後		1		15	4	3			クラス分けのため担当者追加(21)	
		卒業研究Ⅰ	4前	3			+	3	2				
		卒業研究Ⅱ	4後	3			15	4	3			クラス分けのため担当者追加(21)	
							15	4	3				クラス分けのため担当者追加(21)
			ものづくり演習Ⅰ	1前	2		1				+		教育効果の観点から担当者追加(21) 担当教員の所属変更により削除(23)
	創造工学	1前	2		4 3						クラス分けにより変更(23)		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 教 育 科 系 目	ものづくり演習Ⅱ	1後	2			1				+	教育効果の観点から担当者追加(21) 担当教員の所属変更により削除(23)
	CADⅠ	1後	2			1					
	機械工作Ⅰ	1後	2			1					
	電気電子回路	1後		2							
	機械製図	2前	2			1					兼任教員から専任教員に変更(21)
	機構学	2前	2			1					
	機械工作Ⅱ	2前		2		1					
	材料力学Ⅰ	2前	2			1					
	機械力学Ⅰ	2前	2				1				兼任教員から専任教員に変更(21)
	機械工作技能Ⅰ	2前		2		1					
	機械要素Ⅰ	2後	2			1					兼任教員から専任教員に変更(21)
	機械材料Ⅰ	2後	2			+					専任教員から兼任教員に変更(23)
	材料力学Ⅱ	2後		2		1					
	機械力学Ⅱ	2後		2			1				兼任教員から専任教員に変更(21)
	流体力学Ⅰ	2後	2			1					
	工業熱力学Ⅰ	2後	2			1					
	制御工学Ⅰ	2後	2				1				兼任教員から専任教員に変更(21)
	機械工学基礎実験	2後	2			3	1			+	教育効果の観点から担当者追加(21) 担当教員の所属変更により削除(23)
	機械工作技能Ⅱ	2後		2		1					
	機械要素Ⅱ	3前		2		1					兼任教員から専任教員に変更(21)
	CADⅡ	3前		2						+	兼任教員から専任教員に変更(21)
	機械材料Ⅱ	3前		2		+					担当教員の変更(23)
	流体力学Ⅱ	3前		2							専任教員から兼任教員に変更(23)
	工業熱力学Ⅱ	3前		2		1					
	制御工学Ⅱ	3前		2			1				兼任教員から専任教員に変更(21)
	総合演習Ⅰ	3前	1			2	1				教育効果の観点から担当者追加(21) 担当教員の追加(23)
	機械工学応用実験	3前		2		4					教育効果の観点から担当者追加(21) 担当教員の変更
	デジタルエンジニアリング	3前		2			1				兼任教員から専任教員に変更(21)
	機械設計製図	3後	2			1				+	兼任教員から専任教員に変更(21) 担当教員の所属変更により削除(23)
	流体機械	3後		1		1					
	エンジン工学	3後		1		1					兼任教員から専任教員に変更(21)
熱機械	3後		1		1						
総合演習Ⅱ	3後	1			+					教育効果の観点から担当者追加(21) 担当教員の所属変更及び担当者の追加(23)	
総合演習Ⅲ	3後	1			2	1				教育効果の観点から担当者追加(21) 担当教員の追加(23)	
CAE	3後		2			1				兼任教員から専任教員に変更(21)	
デジタルエンジニアリング演習	3後		2		1				+	教育効果の観点から担当者追加(21) 担当教員の所属変更により削除(23) 担当教員の変更(23)	
ロボット工学	3後		2		1						
信頼性工学	3後		2								
CAM	4前		2		1						
自動車工学	4前		2			1				兼任教員から専任教員に変更(21)	
自動車生産技術	4前		2								
基礎電気回路Ⅰ	1前		2						+		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	基礎電気回路Ⅱ	1後	2			1	1				担当教員が昇任(22) より適任の教員に変更(21) 担当教員が昇任(22)
	実践電気工学Ⅰ	1後		2		1					担当教員が昇任(22)
	エネルギー変換	2前		2			1				兼任教員が専任教員に変更(23)
	実践電気工学Ⅱ	2前		2							
	実践電気工学Ⅲ	2後		2							
	実践電気工学演習Ⅰ	2前		2							
	実践電気工学演習Ⅱ	2後		2							
	制御システム工学	2後	2				1				兼任教員が専任教員に変更(23)
	電気回路Ⅰ	2前	2				+				より適任の兼任教員に変更(21)
	電気回路Ⅱ	2後		2				+			より適任の兼任教員に変更(21)
	電気基礎実験Ⅰ	2前	2				1				
							+	+			教育効果の観点から担当者追加(21) 1名の担当教員が昇任(22)
							2				1名の担当教員が昇任(22)
							3				クラス数増加に伴い担当者追加(23)
	電気基礎実験Ⅱ	2後	2				1				
							+	+			教育効果の観点から担当者追加(21) 1名の担当教員が昇任(22)
							2				1名の担当教員が昇任(22)
							3				クラス数増加に伴い担当者追加(23)
	電気磁気学Ⅰ	2前	2				1				
	電気磁気学Ⅱ	2後		2			1				
	電気電子計測	2後		2			1				
	電力工学	2後		2				+			
							1				担当教員が昇任(22)
	過渡解析Ⅰ	3前	2								
	過渡解析Ⅱ	3後	2								
	高電圧工学	3前		2				+			
							1				担当教員が昇任(22)
実践電気工学Ⅳ	3前		2								
電気機器	3前	2					1			兼任教員が専任教員に変更(23)	
電気設計製図	3前		2								
電気電子工学実験Ⅰ	3前	2				+	1			兼任教員が専任教員に変更(21)	
						2	+			兼任教員が専任教員に変更(23)	
電気電子工学実験Ⅱ	3後	2				+	1			兼任教員が専任教員に変更(21)	
						2	+			兼任教員が専任教員に変更(23)	
電気電子材料	3前		2			1					
電力伝送システムⅠ	3前	2									
電力伝送システムⅡ	3後		2								
パワーエレクトロニクス	3前		2				1			兼任教員が専任教員に変更(23)	
電気応用実験	4前		2			+	+				
						2				1名の担当教員が昇任(22)	
電気法規及び施設管理	4後		2								
電力発生工学	4前		2								
専門教育科目	情報技術Ⅰ	1後		2			+				より適任の兼任教員に変更(21)
	情報処理応用	1後	2			1					
	情報数学	1後	2			1					
	電子計算機概論	1前	2			1					
	基礎プログラミングⅡ	2前	2			1					
	コミュニケーション技術	2前	2			1					
	情報技術Ⅱ	2前		2				+			より適任の兼任教員に変更(21)
	情報技術Ⅲ	2後		2			+				より適任の兼任教員に変更(21)
	集積回路	2後	2			1					兼任教員が専任教員に変更(21)
	制御システム工学	2後		2			1				兼任教員が専任教員に変更(23)
電子回路	2前	2			1					兼任教員が専任教員に変更(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
目	プログラミング	2後		2				1			兼任教員が専任教員に変更(21)
	応用プログラミング	3後		2				1			兼任教員が専任教員に変更(21)
	画像処理	3後		2			1				
	コンピュータ工学	3前	2			1					
	コンピュータネットワーク	3後	2			1					
	システムソフトウェア	3前	2					1			兼任教員が専任教員に変更(21)
	情報技術IV	3前		2							
	情報構造	3前		2		1					
	情報実験 I	3前	2			2			1		より適任の教員に変更(23)
	情報実験 II	3後	2			2			1		より適任の教員に変更(23)
	情報通信システム I	3前		2			1				
	情報通信システム II	3後		2			1				
	ソフトウェア工学	3後		2				1			兼任教員が専任教員に変更(21)
	データベース	3後		2		1					
	電子機器システム	3後		2			1				
	電子デバイス	3後		2		1					より適任の教員に変更(21)
	マルチメディア工学	3後		2		1					
	論理設計	3前	2						1		兼任教員が専任教員に変更(21)
	電子応用	4前		2				1			
	専門 環境 建設 教育 科系 科目	環境建設創造工学	1前	2			3 5 4	1 1	2 2		
CGデザイン		1前	2			1					
CGデザイン演習		1後	2			1					
GIS		2前	2			1					
建設CAD		3後	2			4					教育効果の観点から配当年次を変更およびより適任の教員に変更(21)
測量学		1後	2			1			1		
測量学演習		1後	2			1					
測量学実習 I		2前	2			1	1	2			
測量学実習 II		2後	2			1	1	2			
建設材料学		2前	2			1					
構造工学		2前	2					1			
構造工学演習		2前	2					1			
地盤工学		2前	2					1			
地盤工学演習		2前	2					1			
コンクリート構造工学		2後	2			1					
防災工学		2後		2		1					
水理学		2後	2			1					
水理学演習		2後	2					1			
交通計画学		2後	2			1					
橋梁工学		3前		2				1			
道路工学		3前	2			1					
ネットワークプランニング		3前	2			4	1				より適任の教員に変更(21)
河川工学		3前	2			1					
水処理工学		3前		2		1					
品質管理学		3前	2			1					
環境計量学		3前	2			1					
建設施工学		3後	2								
海岸・港湾工学		3後		2		1					
廃棄物処理工学		3後		2							
都市計画		3後		2		1					
環境・建設法規	3後		2		1						
環境・建設工学実験 I	3前	2			4	4	2			より適任の教員に変更(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	環境・建設工学実験Ⅱ	3後	2			4	1	2			より適任の教員に変更および教育効果の観点から担当者追加(21)
	環境建設総合演習Ⅰ	2前	1			3	1	2			より適任の教員に変更(21)
	環境建設総合演習Ⅱ	2後	1			3					クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
	環境建設総合演習Ⅲ	3前	1			4					クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
	環境建設総合演習Ⅳ	3後	1			1	1	2			クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
	環境建設設計	4前	2			3					クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
						5	1	2			定年退職による担当者削除(23)
						4					より適任の教員に変更および教育効果の観点から担当者追加(21)
						2		2	1		

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況			
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
92	118	0	210	92	118	0	210
				[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学部 デジタルエンジニアリング学科>

(1) 授業科目表

※「*」は留学生対象科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 共通 科目	総合人間科学	1前	2			+		1			クラス分けのため担当者追加(22) 専任から兼任に変更(23)
	総合社会科学	1後	2			1					兼任から専任に変更(22)
	歴史学	2前		2		1					
	情報メディア論	2後		2							
	日本国憲法	2前		2							
	健康科学	2後		2			+	+			担当者が講師から准教授に昇任(22) 担当退職のため兼任に変更(23)
	人間関係論	2前		2				1			専任から専任に変更(22)
	体育 I	1前		1			+	+			担当者が講師から准教授に昇任(22) 担当退職のため兼任に変更(23)
	体育 II	1後		1			+	+			担当者が講師から准教授に昇任(22) 担当退職のため兼任に変更(23)
	日本文化と社会	1前	2*			+					担当教員退職後兼任講師に変更(21)
	日本事情とビジネス	1後	2*			1					兼任から専任に変更(22)
	英語 A	1前		2				1			
	総合英語 I	1前		2				1			
	総合英語 II	1後		2				1			
	総合英語 III	2前		2				1	1		クラス分けのため担当者追加(22)
	英会話 I	2後		2							
	英会話 II	3前		2							
	日本語 I	1前	2*								
	日本語 II	1後	2*								
日本語演習 I	1前	1*									
日本語演習 II	1後	1*									
日本語演習 III	2後	1*									
総合 教育 科目	キャリアガイダンス I	1前	1			4					時間割配当の関係から担当者を変更(21)
	キャリアガイダンス II	1後	1			2	1				キャリアガイダンス I の持ち上がりによる(21)
	キャリアガイダンス III	2前	1			2	+				担当者の変更(22)
	キャリアガイダンス IV	2後	1			2	+	+			時間割配当の関係から担当者を変更(21)
	キャリアガイダンス V	3前		1		3	1				キャリアガイダンス III の持ち上がりによる(21)
学部 共通 科目	現代科学入門	1前	2			+	1				担当者定年退職に伴い変更(22)
	基礎数理学	1前		4		+	+				より適任の担当者に変更(21)
	統合理工学 I	1前		2		1			1		より適任の担当者に変更(22)
	統合理工学 II	1後		2		1					
	線形数学 I	1前		2		1					
	線形数学 II	1後		2		1					死亡退職により担当者を変更(21)
	解析学 I	1後		2		2		+			1クラスにつき1人に変更(21)
	解析学 I 演習	1後		2		2		+		1	より適任の担当者に変更(22)
	解析学 II	2前		2		1				1	1クラスにつき1人に変更(21)
	統計学 I	2前		2		+				1	より適任の担当者に変更(22)
	応用数学 I	3前		2		1					
	情報処理基礎	1前		2				+	+		より適任の担当者に変更(21)
	基礎プログラミング	1後		2				+	1		より適任の担当者に変更(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	数値解析	2後		2		2						
	環境学概論	1前	2									
	環境と技術－技術者倫理－	1後		2								
	資源エネルギー	1後		2		1						
	環境と情報	2前		2								
	環境デザイン	2前		2								
	環境と企業	2後		2								
	環境と法	2後		2								
	プロジェクトⅠ	1前		1		2						
	プロジェクトⅡ	1後		1		4						
						2	1	1				クラス分けのため担当追加(21)
	プロジェクトⅢ	2前		1								
	プロジェクトⅣ	2後		1		1						
専門 教育 科目	3DCAD入門Ⅰ	1前	2			1	+					より適任の担当者に変更(21)
	3DCAD入門Ⅱ	1後	2				1					より適任の担当者に変更(21)
	3DCAD入門Ⅲ	1後	2			1	+					より適任の担当者に変更(21)
	3DCAD応用Ⅰ	2前	2				1					H22新規採用予定教員の担当へ変更(21)
	3DCAD応用Ⅱ	2後	2				1					H22新規採用予定教員の担当へ変更(21)
	テクニカルイラストレーション	1前	2			1						
	テクニカルライティング	1前	2			1						
	デジタルエンジニアリングⅠ	2前	2			1						
	デジタルエンジニアリングⅡ	2後	2			1						
	機械製図Ⅰ	2前	2			1						
	機械製図Ⅱ	2後	2			+	+					より適任の担当者に変更(21)
							+					准教授から教授に昇任(22)
										1		より適任の担当者に変更(23)
	設計工学	3前	2			1						
	ものづくり演習Ⅰ	1後	2				+			+		より適任の担当者に変更(21)
							1			1		内容・適正人数を考慮し担当者を変更(23)
	ものづくり演習Ⅱ	2前	2				+					内容・適正人数を考慮し担当者を変更(23)
							1			1		内容・適正人数を考慮し担当者を変更(23)
	XML	2後		2						1		
	ハードウェア・ソフトウェア	3前		2						+		
								1				より適任の担当者に変更(23)
	組込みシステム	3後		2						1		より適任の担当者に変更(21)
	機械系力学	3後		2			+	+				より適任の担当者に変更(21)
											1	より適任の担当者に変更(23)
	加工学概論	1後	2					+		+		より適任の担当者に変更(21)
							+					准教授から教授に昇任(22)
								1				より適任の担当者に変更(23)
	電気電子回路	1後	2				+	+				より適任の担当者に変更(21)
						1					より適任の担当者に変更(23)	
カーエレクトロニクス	3後		2			+	1				より適任の担当者に変更(21)	
											担当者が専任から兼任に異動(23)	
材料力学	3前	2				+	1				H22新規採用予定教員の担当へ変更(21)	
制御システム工学	2後	2					+		+		担当者が講師から准教授に昇任(21)	
						1					より適任の担当者に変更(23)	
メカトロニクス	3前		2				+		+		担当者が講師から准教授に昇任(21)	
						1					より適任の担当者に変更(23)	
インテリジェントコントロール	4前		2						1			
成形加工論	2前		2				1				H22新規採用予定教員の担当へ変更(21)	
材料工学	2後		2				1				H22新規採用予定教員の担当へ変更(21)	
センシング工学	3後		2				1					
3DCAD実践活用法	4前		2			+					適正コマ数を考慮し担当者を変更(21)	
デジタルものづくり入門	1前	2				4	4	2	+			
						2	5				内容・適正人数を考慮し担当者を変更(21)	
						4	3				より適任の担当者に変更(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	ものづくりワークショップ I	2前	2			4	2		1		より適任の担当者に変更(23)
						+	+		+		より適任の担当者に変更(21)
						2	3				内容・適正人数を考慮し担当者を変更(22)
	ものづくりワークショップ II	2後	2			3			1		内容・適正人数を考慮し担当者を変更(23)
						+	+				より適任の担当者に変更(21)
						2	3				内容・適正人数を考慮し担当者を変更(22)
	業界動向	3前		2		2	+				内容・適正人数を考慮し担当者を変更(23)
						1					適正コマ数を考慮し担当者を非常勤へ変更(21)
	3DCAD実践 I	3前	2				+				より適任の担当者に変更(23)
							1				適正コマ数を考慮し担当者を非常勤へ変更(21)
	3DCAD実践 II	3後	2				+				より適任の担当者に変更(23)
									1		適正コマ数を考慮し担当者を非常勤へ変更(21)
	機構シミュレーション	3前		2			1				より適任の担当者に変更(23)
	流体シミュレーション	3後		2			1				H22新規採用予定教員の担当へ変更(21)
	自動車工学	3前	2				+				H22新規採用予定教員の担当へ変更(21)
									1		適正コマ数を考慮し担当者を非常勤へ変更(21)
	デジタル制御	3前	2				1	+			より適任の担当者に変更(23)
						1					より適任の担当者に変更(21)
	次世代自動車工学	3後		2			1	+			より適任の担当者に変更(23)
											担当者が講師から准教授に昇任(21)
	ロボット制御工学	3後		2			+	+			担当者が兼任になるが引き続き担当(23)
						1					より適任の担当者に変更(21)
	ゼミナール	3後	1			4	4	2	+		担当者が准教授から教授に昇任(22)
						2	5				適正人数を考慮し担当者を変更(21)
	卒業研究 I	4前	3			4	2		1		担当者昇任及び異動による変更(23)
						2	5				適正人数を考慮し担当者を変更(21)
	卒業研究 II	4後	3			4	2		1		担当者昇任及び異動による変更(23)
						2	5				適正人数を考慮し担当者を変更(21)
						4	2		1		担当者昇任及び異動による変更(23)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況			
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
39	57	0	96	39	57	0	96
				[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	施設減少 (-3,039㎡) 21年8月21日 売却		
	校舎敷地	65,574.28㎡ 66,713.20㎡	0㎡	0㎡	65,574.28㎡ 66,713.20㎡			
	運動場用地	47,090.45㎡	0㎡	0㎡	47,090.45㎡			
	小 計	112,664.73㎡ 113,803.65㎡	0㎡	0㎡	112,664.73㎡ 113,803.65㎡			
	そ の 他	30,105.17㎡ 27,066.17㎡	0㎡	0㎡	30,105.17㎡ 27,066.17㎡			
	合 計	142,769.90㎡ 140,869.82㎡	0㎡	0㎡	142,769.90㎡ 140,869.82㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		47,412.65㎡ 51,689.73㎡ -(47,412.65㎡) (51,689.73㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	47,412.65㎡ 51,689.73㎡ -(47,412.65㎡) (51,689.73㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	() は小倉CP 閉鎖中の講義室・実習 室・実験室数を含む	
		39(11) 室	6(3) 室	25(3) 室	9(4) 室 (補助職員 人)	0 室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	工学部	[19,264] 143,261 143,874	[447] 1,594	[2] 5	3,207 3,221	() ()	() ()	
	計	[19,264] 143,261 143,874	[447] 1,594	[2] 5	3,207 3,221	() ()	() ()	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	㎡							
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	5,192千円	5,192千円	5,192千円
	共同研究費等	25,000千円	25,000千円	設備購入費	20,000千円	20,000千円	20,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,400千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	-	-	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立学校等経常費補助金、特別補助金、資産運用収入、雑収入他						

(注)・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	西日本工業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	平成21年より 学生募集停止 平成21年より 学生募集停止 平成21年より 学生募集停止
	年	人	年次 人	人		倍			
工学部 機械システム工学科	4	—	—	—	学士（工学）		昭和42年	福岡県苅田町	
工学部 電気電子情報工学科	4	—	—	—	学士（工学）		昭和42年	福岡県苅田町	
工学部 環境建設学科	4	—	—	—	学士（工学）		昭和43年	福岡県苅田町	
デザイン学部 建築学科	4	75	2	304	学士（工学）	0.94	平成18年	福岡県北九州市	
デザイン学部 情報デザイン学科	4	75	5	310	学士（工学）	0.94	平成18年	福岡県北九州市	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 総合システム工学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	赤司 信義	平成21年4月	プロジェクトⅠ 環境建設創造工学 水理学 河川工学 水処理工学 海岸・港湾工学 環境建設総合演習Ⅱ 環境建設総合演習Ⅳ 環境建設設計 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成22年4月 平成22年4月 平成22年4月	プロジェクトⅢ キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ	クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
専任	教授	吉永 俊雄	平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ	専任	教授	越智 廣志 柴原 秀樹	平成23年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ キャリアガイダンスⅤ	クラス持上がりにより削除(23) クラス持上がりにより担当(23)
				創造工学 工業熱力学Ⅰ 機械工学基礎実験 機械工作技能Ⅱ 工業熱力学Ⅱ 機械工学応用実験 熱機械 総合演習Ⅲ 企業実習 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月	総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合合同演習Ⅱ 特別進学指導Ⅳ	系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23)
専任	教授	大木 正彦	平成21年4月	基礎プログラミングⅠ 電子計算機概論 基礎プログラミングⅡ 情報技術Ⅲ 情報構造 情報実験Ⅰ 情報実験Ⅱ データベース ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	兼任	講師	金色 拓	平成21年4月 平成23年4月 平成22年4月 平成22年4月	工学概説 キャリアガイダンスⅤ 数値解析 情報技術Ⅲ	講義内容充実のため追加担当(21) 指導効果を考慮し担当変更(21) クラス分けのため追加担当(22) より適任の教員に変更(21)
専任	教授	安部 晴男	平成21年4月	工学概説 現代科学入門 統合理工学Ⅰ 統合理工学Ⅱ	兼任 兼務	教授 講師	安部 晴男			専任から兼任へ変更(21) 定年退職の後、兼任として再任用(22)
				キャリアガイダンスⅤ	専任	教授	大木 正彦	平成22年4月 平成23年4月	数値解析 キャリアガイダンスⅤ	クラス分けのため追加担当(21) より適任の教員に変更(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	岩元 賢	平成21年4月	キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ 基礎数理学 数値解析 工学概説 環境建設創造工学 環境計量学 環境建設総合演習Ⅱ 環境建設総合演習Ⅳ ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	助教	松崎 和孝	平成21年4月 平成22年4月	プロジェクトⅠ 基礎数理学	クラス数増加に伴い担当者を追加(21) より適任の教員に変更(22)
専任	教授	越智 廣志	平成21年4月	キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ	専任	教授 准教授	池森 寛 高藤圭一郎	平成23年4月	キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ	クラス持上がりにより削除(23)
								平成23年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ	クラス持上がりにより担当(23)
				工学概説 創造工学 機械工作技能Ⅰ 流体力学Ⅰ 機械工学基礎実験 流体力学Ⅱ 機械工学応用実験 流体機械 総合演習Ⅲ ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成21年4月	プロジェクトⅠ	系専任教員間での調整により変更(21) 系専任教員間での調整により削除(21) 系専任教員間での調整により削除(21)
								平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月	総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合合同演習Ⅱ	系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23)
専	教授	柴原 秀樹	平成21年4月	ものづくり演習Ⅰ 創造工学 ものづくり演習Ⅱ CADⅠ 機械工作Ⅰ 機構学 機械工作Ⅱ 総合演習Ⅰ 機械工学応用実験 CAM ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成22年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月	機械工作技能Ⅰ CADⅡ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合合同演習Ⅰ デジタルエンジニアリング演習	系専任教員間での調整により削除(21) より適任の教員として担当(21) より適任の教員として担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23) より適任の教員として担当(21)
専任	教授	堤 昌文	平成21年4月	キャリアガイダンスⅤ			堤 昌文	平成23年4月	交通計画学 道路工学 品質管理学 都市計画 環境・建設法規	定年退職(23) 定年退職により担当削除(23)
				交通計画学 道路工学 品質管理学 都市計画 環境・建設法規						定年退職の後、兼任として再任用(23)
				環境建設創造工学						定年退職により担当削除(23)
				環境建設総合演習Ⅰ 環境建設総合演習Ⅲ						系専任教員間での調整により削除(21) 系専任教員間での調整により削除(21)
				ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						定年退職により担当削除(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	水戸 三千秋	平成21年4月	情報処理応用 情報数学 コミュニケーション技術 コンピュータ工学 コンピュータネットワーク 情報実験Ⅰ 情報実験Ⅱ マルチメディア工学 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任 専任	講師 講師	亀井 圭史 亀井 圭史	平成23年4月 平成23年4月	情報実験Ⅰ 情報実験Ⅱ	より適任の教員に変更(23) より適任の教員に変更(23)
								平成21年4月 平成21年4月 平成22年4月 平成22年4月	情報処理基礎 工学概説 キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ	より適任の教員として担当(21) 講義内容充実のため追加担当(21) 個別指導充実のため追加担当(21) 個別指導充実のため追加担当(21)
専任	教授	谷口 良明	平成21年4月	キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ 線形数学Ⅱ 統計学Ⅰ 代数学Ⅰ 代数学Ⅱ 幾何学Ⅱ 幾何学Ⅳ 解析学Ⅲ	専任 兼任 専任 専任	教授 講師 講師 教授	松本 好史 吉田 正見 松岡 孝 松本 好史	平成21年4月 平成22年4月 平成22年4月 平成22年4月	キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ 線形数学Ⅱ 統計学Ⅰ 代数学Ⅰ 代数学Ⅱ 幾何学Ⅱ 幾何学Ⅳ 解析学Ⅲ	死亡退職により非常勤検討中(21) 死亡退職により担当教員変更(21) 死亡退職により担当教員変更(21) 死亡退職により非常勤検討中(22)
専任	教授	前園 敏郎	平成21年4月	キャリアガイダンスⅤ 創造工学 材料力学Ⅰ 機械材料Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工学基礎実験 機械材料Ⅱ 総合演習Ⅰ 機械工学応用実験 総合演習Ⅱ ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任 兼任 兼任 兼任	教授 教授 講師 講師	吉永 俊雄 大塚 芳臣 前之園好爾 前之園好爾	平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅤ 材料力学Ⅰ 機械材料Ⅰ 機械材料Ⅱ 総合演習Ⅰ 機械工学応用実験 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅰ	クラス変更のため削除(23) 病気療養のため担当教員変更(23) 非常勤に担当変更(23) 非常勤に担当変更(23) 病気療養のため担当教員変更(23) 病気療養のため担当教員変更(23) 病気療養のため担当教員変更(23) 病気療養のため担当教員変更(23)
専任	教授	松本 好史	平成21年4月	線形数学Ⅰ 解析学Ⅰ 解析学Ⅰ演習 解析学Ⅱ 応用数学Ⅰ 幾何学Ⅰ 幾何学Ⅲ 統計学Ⅱ 応用数学Ⅱ	兼任	講師	水谷 裕	平成22年4月 平成21年4月 平成21年4月 平成21年4月	統計学Ⅱ キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ 線形数学Ⅱ	より適任の教員に変更(21) 谷口教授死亡のため担当(21) 谷口教授死亡のため担当(21) 谷口教授死亡のため担当(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	福田 順二	平成21年4月	プロジェクトⅠ 環境建設創造工学 測量学 測量学演習 測量学実習Ⅰ 測量学実習Ⅱ 建設材料学 コンクリート構造工学 防災工学 環境建設総合演習Ⅰ 環境建設総合演習Ⅲ ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成21年4月 平成21年4月 平成21年4月	プロジェクトⅡ キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ	クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
専任	教授	高城 実	平成21年4月	資源エネルギー 電気磁気学Ⅰ 電気磁気学Ⅱ 電気電子計測 電気電子工学実験Ⅰ 電気電子工学実験Ⅱ 電気電子材料 電気応用実験 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成23年4月 平成23年4月	電気基礎実験Ⅰ 電気基礎実験Ⅱ	クラス数増加に伴い担当者を追加(23) クラス数増加に伴い担当者を追加(23)
				プロジェクトⅡ	専任	教授	小田 徹	平成22年4月 平成22年4月 平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ プロジェクトⅡ	個別指導充実のため追加担当(21) 個別指導充実のため追加担当(21) より適任の教員に変更(21)
専任	教授	周 国云	平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ プロジェクトⅣ 環境建設創造工学 CGデザイン CGデザイン演習 GIS 環境建設総合演習Ⅰ 環境建設総合演習Ⅲ ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成23年4月	環境建設総合演習Ⅳ	系専任教員間での調整により削除(21) 系専任教員間での調整により削除(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
専任	教授	永添 祥多	平成21年4月	総合人間科学 総合人間科学 歴史学 日本文化と社会 キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ	専任	教授	田代 武博	平成23年4月	総合人間科学	自己都合退職(23) 後任として新規任用(23)
				総合人間科学	兼任	講師	岡野亜希子	平成23年4月	総合人間科学	担当者退職のため兼任に変更(23)
				歴史学	専任	教授	田代 武博	平成23年4月	歴史学	後任として新規任用(23)
				日本文化と社会	兼任	講師	中村 憲司	平成22年4月	日本文化と社会	より適任の教員に変更(22)
				キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ	専任	教授	小田 徹	平成21年4月	キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ	より適任の教員に変更(21)
専任	准教授	水野 邦昭	平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ 工学概説 電気電子工学実験Ⅰ 電気電子工学実験Ⅱ 画像処理 情報通信システムⅠ 情報通信システムⅡ 電子機器システム 電子応用 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	教授	永添 祥多	平成22年4月 平成22年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ キャリアガイダンスⅤ	より適任の教員に変更(21) より適任の教員に変更(21) 個別指導充実のため追加担当(21)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	平尾 和年	平成21年4月	環境建設創造工学 測量学実習Ⅰ 測量学実習Ⅱ 地盤工学 地盤工学演習 ネットワークプランニング 環境・建設工学実験Ⅰ 環境・建設工学実験Ⅱ 環境建設総合演習Ⅰ 環境建設総合演習Ⅲ ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成22年4月 平成22年4月 平成21年4月 平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ プロジェクトⅠ 情報処理基礎	クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
								平成23年4月	環境建設総合演習Ⅳ	クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
専任	准教授	小田 徹	平成21年4月	基礎電気回路Ⅰ 電気基礎実験Ⅰ 電気基礎実験Ⅱ 電力工学 高電圧工学 電気応用実験 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		教授		平成21年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅠ 基礎電気回路Ⅱ	准教授から教授に職位の変更(22) より適任の教員として担当(21) より適任の教員に変更(23)
				キャリアガイダンスⅤ	兼任	准教授	池田 英広	平成23年4月	キャリアガイダンスⅤ	より適任の教員に変更(21)
				電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ	兼任	准教授 教授	鷹尾 良行	平成22年4月	電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ	より適任の教員に変更(21) 准教授から教授に職位の変更(22)
				情報技術Ⅰ 情報技術Ⅱ	兼任	講師	金色 拓	平成21年4月 平成22年4月	情報技術Ⅰ 情報技術Ⅱ	より適任の教員に変更(21)
専任	准教授	吉永 秀之	平成21年4月	英語A 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ	兼任	准教授	吉永 秀之	平成23年4月	英語A 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ	専任から兼任に変更(23)
専任	講師	早川 信介	平成21年4月	環境建設創造工学 測量学実習Ⅰ 測量学実習Ⅱ 構造工学 構造工学演習 橋梁工学 環境・建設工学実験Ⅰ 環境・建設工学実験Ⅱ 環境建設総合演習Ⅰ 環境建設総合演習Ⅲ 環境建設設計 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ				平成23年4月 平成22年4月	キャリアガイダンスⅤ プロジェクトⅠ	クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
								平成23年4月	環境建設総合演習Ⅳ	クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
専任	講師	城戸 晴紀	平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ 健康科学 体育Ⅰ 体育Ⅱ	兼任	講師 准教授				専任から兼任に変更(21) 講師から准教授に昇任(22) 定年退職(23)
				キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ	兼任	講師	八板 昭仁	平成23年4月	健康科学	担当者退職のため変更(23)
				体育Ⅰ	兼任	講師	島屋 八生 野田 耕	平成23年4月	体育Ⅰ	担当者退職のため変更(23)
				体育Ⅱ	兼任	講師	八板 昭仁 木山 慶子 花田	平成23年4月	体育Ⅱ	担当者退職のため変更(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	石川 誠	平成21年4月	環境建設創造工学 建設CAD 測量学実習 I 測量学実習 II 水理学演習 環境・建設工学実験 I 環境・建設工学実験 II 環境建設総合演習 I 環境建設総合演習 III ゼミナール 卒業研究 I 卒業研究 II				平成22年4月 平成23年4月 平成23年4月	プロジェクト I プロジェクト III 環境建設総合演習 IV	クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21)
					専任	講師	能見 英雄	平成21年4月 平成22年4月 平成23年4月	英語A 総合英語 I 総合英語 II 総合英語 III	クラス分けのため追加担当(21) クラス分けのため追加担当(22) クラス分けのため追加担当(23)
					専任	講師	松岡 孝	平成21年4月 平成22年4月 平成23年4月	基礎数理学 解析学 I 解析学 I 演習 幾何学 I 線形数学 I	クラス分けのため追加担当(21) クラス分けのため追加担当(22) クラス分けのため追加担当(23)
					専任	助教	松崎 和孝	平成22年4月 平成23年4月	基礎数理学 統計学 I 解析学 I 解析学 I 演習 数学入門 統計学 II 幾何学 I 幾何学 II 代数学 II	新規採用(22) クラス分けのため追加担当(22) より適任の教員に変更(23) より適任の教員に変更(23) より適任の教員に変更(23)
兼任	教授	坂田 豊	平成22年4月	機械製図 総合演習 I デジタルエンジニアリング	専任	教授 教授 教授 教授 准教授	池森 寛 柴原 秀樹 池森 寛 吉永 俊雄 越智 廣志 高藤圭一郎	平成22年4月 平成23年4月 平成23年4月	機械製図 総合演習 I デジタルエンジニアリング	系専任教員間での調整により削除(21) 専任教員間での調整により削除(23) 専任教員間での調整により削除(23)
兼任	教授	池森 寛	平成21年4月	プロジェクト II 機械要素 I 機械要素 II 機械設計製図 エンジン工学 総合演習 II	専任	教授	池森 寛	平成23年4月 平成21年4月	キャリアガイダンス I キャリアガイダンス II 総合演習 I 総合演習 III 工学概説 創造工学	兼任から専任へ変更(21) クラス持上がりにより変更(23) クラス持上がりにより変更(23) 系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により担当(23) 系専任教員間での調整により変更(21) 系専任教員間での調整により変更(21)
兼任	教授	大塚 芳臣	平成22年4月	機械力学 I 機械力学 II 総合演習 I	専任	准教授 教授 教授 教授 准教授	高藤圭一郎 柴原 秀樹 池森 寛 吉永 俊雄 越智 廣志 高藤圭一郎	平成23年4月 平成23年4月	機械力学 I 機械力学 II 総合演習 I	専任教員間での調整により削除(23) 専任教員間での調整により削除(23)
兼任	教授	中村 憲司	平成21年4月	総合人間科学 環境と技術－技術者倫理－	兼任	教授	中村 憲司	平成21年4月	総合人間科学 環境と技術－技術者倫理－	退職後兼任として採用のため(21)
兼任	教授	皆川 重男	平成21年10月	総合社会科学 日本事情とビジネス プロジェクト III				平成23年4月 平成21年4月 平成21年4月 平成22年4月 平成22年4月 平成22年4月	プロジェクト IV キャリアガイダンス I キャリアガイダンス II ゼミナール 卒業研究 I 卒業研究 II	系専任教員間での調整により削除(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(21) クラス数増加に伴い担当者を追加(22) クラス数増加に伴い担当者を追加(22) クラス数増加に伴い担当者を追加(22)

届出時の計画					変更状況					備考				
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名					
兼任	教授	山内 経則	平成22年4月	電気基礎実験Ⅰ	専任	教授	山内 経則	平成21年4月		兼任から専任へ変更(21)				
				電気基礎実験Ⅱ										
				電気電子工学実験Ⅰ										
				電気電子工学実験Ⅱ										
				集積回路					キャリアガイダンスⅠ	クラス分けのため追加担当(21)				
				電子回路					キャリアガイダンスⅡ	クラス分けのため追加担当(21)				
								平成23年4月	電子デバイス	兼任教員辞退のため担当変更(21)				
								平成23年4月	ゼミナール	クラス分けのため追加担当(21)				
								平成24年4月	卒業研究Ⅰ	個別指導充実のため追加担当(21)				
								平成24年4月	卒業研究Ⅱ	個別指導充実のため追加担当(21)				
				論理設計	専任	講師	亀井 圭史	平成23年4月	論理設計	より適任の教員に変更(21)				
兼任	准教授	高峰	平成23年4月	CADⅡ	専任	教授	柴原 秀樹	平成23年4月	CADⅡ	専任教員間での調整により削除(23)				
				デジタルエンジニアリング演習		教授	柴原 秀樹	平成23年4月	デジタルエンジニアリング演習	専任教員間での調整により削除(23)				
						准教授	高藤圭一郎	平成23年4月		専任教員間での調整により削除(23)				
兼任	准教授	高藤 圭一郎	平成22年10月	機械工学基礎実験	専任	准教授	高藤圭一郎	平成22年4月		兼任から専任へ変更(21)				
				CAE				平成23年4月			系専任教員間での調整により削除(21)			
								平成23年4月			系専任教員間での調整により担当(23)			
								平成23年4月			キャリアガイダンスⅠ	クラス持上りにより担当(23)		
								平成23年4月			キャリアガイダンスⅡ	クラス持上りにより担当(23)		
								平成23年4月			機械力学Ⅰ	より適任の教員として担当(23)		
								平成23年4月			機械力学Ⅱ	より適任の教員として担当(23)		
								平成23年4月			制御工学Ⅰ	より適任の教員として担当(23)		
								平成23年4月			制御工学Ⅱ	より適任の教員として担当(23)		
								平成23年4月			デジタルエンジニアリング	より適任の教員として担当(21)		
								平成23年4月			デジタルエンジニアリング演習	より適任の教員として担当(23)		
								平成23年4月			総合合同演習Ⅰ	系専任教員間での調整により担当(23)		
								平成23年4月			総合演習Ⅰ	系専任教員間での調整により担当(23)		
								平成23年4月			総合演習Ⅲ	系専任教員間での調整により担当(23)		
								平成24年4月			自動車工学Ⅱ	系専任教員間での調整により担当(21)		
	平成23年4月	総合演習Ⅱ	系専任教員間での調整により担当(23)											
	平成23年4月	ゼミナール	系専任教員間での調整により担当(23)											
	平成24年4月	卒業研究Ⅰ	系専任教員間での調整により変更(21)											
	平成24年4月	卒業研究Ⅱ	系専任教員間での調整により変更(21)											
兼任	准教授	鷹尾 良行	平成21年10月	電気基礎実験Ⅰ	兼任	准教授	教授	平成22年4月	電気回路Ⅰ	より適任の教員として担当(21)				
				電気基礎実験Ⅱ					平成22年4月	電気回路Ⅱ	より適任の教員として担当(21)			
									平成21年4月	電気電子回路	より適任の教員として担当(21)			
									平成22年4月	電気電子回路	より適任の非常勤講師に依頼(22)			
				基礎電気回路Ⅱ					専任	准教授	小田 徹	平成21年4月	基礎電気回路Ⅱ	より適任の教員に変更(21)
										教授				准教授から教授に職位の変更(22)
				情報処理基礎					専任	教授	水戸 三千秋	平成21年4月	情報処理基礎	より適任の教員に変更(21)
情報技術Ⅳ	兼任	講師	金色 拓	平成23年4月	情報技術Ⅳ	より適任の教員に変更(21)								
兼任	准教授	上條 恵右	平成22年10月	制御工学Ⅰ	専任	准教授	高藤圭一郎	平成23年4月	制御工学Ⅰ	系専任教員間での調整により削除(23)				
				制御工学Ⅱ					制御工学Ⅱ	系専任教員間での調整により削除(23)				
				総合演習Ⅰ					専任	教授	柴原 秀樹	平成23年4月	総合演習Ⅰ	系専任教員間での調整により削除(23)
									教授	池森 寛				
	教授	吉永 俊雄												
	准教授	越智 廣志												
				ロボット工学										
兼任	講師	池田 英広	平成22年4月	エネルギー変換	専任	准教授	池田 英広			兼任から選任に変更(23)				
				電気機器							講師から准教授へ職位変更(21)			
				パワーエレクトロニクス										
											平成22年4月	制御システム工学	クラス分けのため追加担当(21)	
											平成23年4月	キャリアガイダンスⅤ	より適任の教員として担当(21)	
	平成23年4月	ゼミナール	兼任から専任に変更(23)											
	平成24年4月	卒業研究Ⅰ	兼任から専任に変更(23)											
	平成24年4月	卒業研究Ⅱ	兼任から専任に変更(23)											

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	亀井 圭史	平成22年10月	プログラミング 応用プログラミング システムソフトウェア ソフトウェア工学	専任	講師	亀井 圭史	平成21年4月 平成21年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成22年4月	キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ 論理設計 情報実験Ⅰ 情報実験Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 工学概説	兼任から専任へ変更(21) クラス分けのため追加担当(21) クラス分けのため追加担当(21) より適任の教員として担当(21) より適任の教員として担当(23) より適任の教員として担当(23) 個別指導充実のため追加担当(21) 個別指導充実のため追加担当(21) 担当教員定年退職のため担当変更(22)
兼任	講師	竹中 知華子	平成21年10月	総合社会科学 環境と企業						
兼任	講師	山縣 宏美	平成21年4月	総合人間科学 人間関係論 環境デザイン						
兼任	助教	吉丸 将史	平成22年10月	機械工学基礎実験						兼任から専任へ変更(21) 専任から兼任へ変更(23)
兼任	講師	尾郷 晴美	平成22年4月	電気基礎実験Ⅰ 電気基礎実験Ⅱ 情報実験Ⅰ 情報実験Ⅱ						
兼任	講師	江本 待子	平成22年10月	情報メディア論						
兼任	講師	瀧澤 信彦	平成22年4月	日本国憲法	兼任	講師	坂口 浩	平成22年4月	日本国憲法	担当者変更(22)
兼任	講師	ブラッド・バーカー	平成22年10月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	講師	ディールステイ ール	平成22年10月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	担当者変更(22)
兼任	講師	長谷川 基子	平成21年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ 日本語演習Ⅲ						
兼任	講師	太田 有生夫	平成21年4月	環境学概論 環境と情報						
					兼任	講師	吉田 正見	平成21年10月	統計学Ⅱ	より適任の教員として担当(21)
					兼任	講師	水谷 裕	平成21年10月	統計学Ⅰ 統計学Ⅱ	クラス分けのため追加担当(21) クラス分けのため追加担当(21)
兼任	講師	中野 昌治	平成22年10月	環境と法	兼任	講師	原口 公子	平成22年4月	環境と法	より適任の担当者に変更(22)
兼任	講師	高谷 俊雄	平成23年10月	信頼性工学			担当者未定	平成23年10月		非常勤辞退のため担当者選考中(23)
兼任	講師	福田 洋司	平成24年4月	自動車生産技術	兼任	講師	東 範彦	平成23年4月	自動車生産技術	非常勤辞退のため担当変更(23)
兼任	講師	福吉 勝美	平成21年10月	実践電気工学Ⅰ 実践電気工学Ⅱ 実践電気工学Ⅲ 実践電気工学演習Ⅰ 実践電気工学演習Ⅱ 実践電気工学Ⅳ						
兼任	講師	芹川 聖一	平成23年4月	過渡解析Ⅰ 過渡解析Ⅱ	兼任	講師	高城 洋明	平成23年4月	過渡解析Ⅰ 過渡解析Ⅱ	非常勤辞退のため担当変更(21)
兼任	講師	近藤 浩	平成23年10月	システム工学						
兼任	講師	甲斐 徹	平成23年4月	電気設計製図						
兼任	講師	河村憲太郎	平成23年4月	電力伝送システムⅠ 電力伝送システムⅡ	兼任	講師	有園 和博	平成23年4月	電力伝送システムⅠ 電力伝送システムⅡ	非常勤辞退のため担当変更(23)
兼任	講師	芹澤 昇	平成24年4月	電気法規及び施設管理 電力発生工学						
兼任	講師	遠山 尚武	平成23年10月	電子デバイス	専任	教授	山内 経則	平成23年4月	電子デバイス	非常勤辞退のため担当変更(21)
兼任	講師	金色 拓	平成21年4月	情報技術Ⅰ 情報技術Ⅱ 情報技術Ⅲ 情報技術Ⅳ						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	満下 直紀	平成23年10月	建設施工学						
兼任	講師	鶴田 暁	平成23年10月	廃棄物処理工学						

(注) ・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
16	4	3	0	23	0	17	4	5	1	27	0	
(16)	(5)	(6)	(1)	(28)	(0)	[1]	[0]	[2]	[1]	[4]	[0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	谷口 良明	死亡退職 (H20. 5. 27)
2	教授	堤 昌文	定年退職 (H23. 3. 31)
3	教授	永添 祥多	自己都合退職（他大学に転籍）(H23. 3. 31)

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

死亡退職 1 名の補充を含め、平成 22 年度に新規採用 2 名及び総合システム工学科とデジタルエンジニアリング学科の一部教員の入替等により、計画されている授業科目の担当者は全て確保されており、学生の履修等への影響はないと判断される。また、教員の交代内容については授業時間割に反映されており、且つホームページによって学生へ周知を図っている。
 更に、平成 22 年度から新規に 1 名、数学担当教員を採用し、クラス編成の増加に対応している。
 また、平成 22 年度末に退職した堤教授については引き続き兼任として任用しており、永添教授の後任は本年度から新規に専任の教授を採用して対応している。

(注) ・上記 (3) の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 デジタルエンジニアリング学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専任	教授	坂田 豊	平成21年4月	テクニカルイラストレーション テクニカルライティング デジタルエンジニアリング I デジタルエンジニアリング II 機械製図 I 設計工学 デジタルものづくり入門 ゼミナール 卒業研究 I 卒業研究 II						
				3DCAD実践活用法 業界動向	兼任 兼任	教授 教授	井上 和 井上 和	平成24年4月 平成23年4月	3DCAD実践活用法 業界動向	適正コマ数を考慮し担当者を非常勤へ変更(21) 適正コマ数を考慮し担当者を非常勤へ変更(21)
専任	教授	池森 寛	平成21年4月							専任から兼任に変更(21)
				キャリアガイダンスⅢ	専任 専任 専任	教授 准教授 准教授	上條 恵右 高峰 野中 智博	平成21年4月 平成21年4月 平成22年4月	キャリアガイダンスⅢ	時間割配当の関係から担当者を変更(21) 時間割配当の関係から担当者を変更(21) 時間割配当の関係から担当者を変更(22)
				キャリアガイダンスⅣ	専任 専任 専任	教授 准教授 准教授	上條 恵右 高峰 野中 智博	平成21年4月 平成21年4月 平成22年4月	キャリアガイダンスⅣ	時間割配当の関係から担当者を変更(21) 時間割配当の関係から担当者を変更(21) 時間割配当の関係から担当者を変更(22)
				プロジェクトⅡ	兼任	教授	池森 寛	平成21年10月	プロジェクトⅡ	
				機械製図Ⅱ	専任	助教	吉丸 将史	平成23年4月		より適任の担当者に変更(23)
				材料力学	専任	准教授	野中 智博	平成22年4月	材料力学	より適任の担当者に変更(22)
				デジタルものづくり入門	専任 専任 専任 専任 専任 専任	教授 教授 准教授 教授 教授 准教授	坂田 豊 大塚 芳臣 高峰 上條 恵右 鷹尾 良行 野中 智博	平成21年4月 平成21年4月 平成21年4月 平成21年4月 平成22年4月 平成22年4月	デジタルものづくり入門	適正人数を考慮し担当者を変更(21) 新規採用(22) 兼任から専任に変更(23)
				ゼミナール	専任 専任 専任 専任 専任	教授 教授 准教授 教授 准教授	坂田 豊 大塚 芳臣 高峰 上條 恵右 鷹尾 良行 野中 智博	平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月	ゼミナール	適正人数を考慮し担当者を変更(21) 新規採用(22) 兼任から専任に変更(23)
				卒業研究Ⅰ	専任 専任 専任 専任 専任	教授 教授 准教授 教授 准教授	坂田 豊 大塚 芳臣 高峰 上條 恵右 鷹尾 良行 野中 智博	平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月	卒業研究Ⅰ	適正人数を考慮し担当者を変更(21) 新規採用(22) 兼任から専任に変更(23)
				卒業研究Ⅱ	専任 専任 専任 専任 専任	教授 教授 准教授 教授 准教授	坂田 豊 大塚 芳臣 高峰 上條 恵右 鷹尾 良行 野中 智博	平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月	卒業研究Ⅱ	適正人数を考慮し担当者を変更(21) 新規採用(22) 兼任から専任に変更(23)
				ものづくりワークショップⅠ デジタルものづくり入門 企業実習 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
				キャリアガイダンスⅠ	専任 専任 専任	教授 教授 准教授	坂田 豊 鷹尾 良行 吉永 秀之	平成21年4月 平成21年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅠ	時間割配当の関係から担当者を変更(21) 適正人数を考慮し担当者を変更(23)
				キャリアガイダンスⅡ	専任 専任 専任	教授 教授 准教授	坂田 豊 鷹尾 良行 吉永 秀之	平成21年4月 平成21年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅠ	時間割配当の関係から担当者を変更(21) 適正人数を考慮し担当者を変更(23)
機械系力学	専任	助教	吉丸 将史	平成23年4月		より適任の担当者に変更(23)				

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
専任	教授	山内 経則	平成21年4月							専任から兼任に変更(21)
				キャリアガイダンスⅠ	専任 専任 専任	教授 教授 准教授	坂田 豊 鷹尾 良行 吉永 秀之	平成21年4月 平成21年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅠ	時間割配当の関係から担当者を変更(21) 適正人数を考慮し担当者を変更(23)
				キャリアガイダンスⅡ	専任 専任	教授 准教授	坂田 豊 鷹尾 良行	平成21年4月 平成21年4月	キャリアガイダンスⅡ	キャリアガイダンスⅠの持ち上がりによる(21) 適正人数を考慮し担当者を変更(23)
				電気電子回路	専任	教授	鷹尾 良行	平成23年4月	電気電子回路	より適任の担当者に変更(23)
				ものづくりワークショップⅡ	専任 専任 専任	教授 教授 助教	大塚 芳臣 鷹尾 良行 上條 恵右 吉丸 将史	平成21年4月 平成21年4月 平成23年4月 平成23年4月	ものづくりワークショップⅡ	より適任の担当者に変更(21) 適正人数を考慮し担当者を変更(23)
				業界動向	兼任	教授	井上 和	平成23年4月	業界動向	適正コマ数を考慮し担当者を非常勤へ変更(21)
				カーエレクトロニクス	専任 兼任	准教授	池田 英広	平成21年4月 平成23年4月	カーエレクトロニクス	より適任の担当者に変更(21) 専任から兼任に変更(23)
				デジタルものづくり入門	専任 専任 専任 専任 専任	教授 教授 准教授 教授 教授	坂田 豊 大塚 芳臣 高峰 上條 恵右 鷹尾 良行	平成21年4月 平成21年4月 平成21年4月 平成21年4月 平成21年4月	デジタルものづくり入門	適正人数を考慮し担当者を変更(21)
				ゼミナール	専任 専任 専任 専任 専任	教授 教授 准教授 教授 准教授	坂田 豊 大塚 芳臣 高峰 上條 恵右 鷹尾 良行	平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月 平成23年4月	ゼミナール	新規採用(22) 兼任から専任に変更(23) 適正人数を考慮し担当者を変更(21)
				卒業研究Ⅰ	専任 専任 専任 専任 専任	教授 教授 准教授 教授 教授	坂田 豊 大塚 芳臣 高峰 上條 恵右 鷹尾 良行	平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月	卒業研究Ⅰ	適正人数を考慮し担当者を変更(21) 新規採用(22) 兼任から専任に変更(23)
				卒業研究Ⅱ	専任 専任 専任 専任 専任	教授 教授 准教授 教授 教授	坂田 豊 大塚 芳臣 高峰 上條 恵右 鷹尾 良行	平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月	卒業研究Ⅱ	適正人数を考慮し担当者を変更(21) 新規採用(22) 兼任から専任に変更(23)
				専任	准教授	高峰	平成21年4月	デジタルものづくり入門 ものづくり演習Ⅱ ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		
3DCAD応用Ⅱ 機構シミュレーション 3DCAD応用Ⅰ	専任	准教授	野中 智博					平成22年4月	3DCAD応用Ⅱ 機構シミュレーション 3DCAD応用Ⅰ	採用教員の担当へ変更(22)
3DCAD応用Ⅱ	専任	助教	吉丸 将史					平成23年4月	3DCAD応用Ⅱ	より適任の担当者に変更(23)
キャリアガイダンスⅣ	専任 専任 専任	教授 准教授 准教授	上條 恵右 高峰 野中 智博					平成21年4月 平成21年4月 平成22年4月	キャリアガイダンスⅣ	時間割配当の関係から担当者を変更(21) 時間割配当の関係から担当者を変更(21) 新規採用(22)
専任	准教授	鷹尾 良行	平成21年4月	センシング工学 ものづくりワークショップⅡ デジタルものづくり入門 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ		教授				准教授から教授に昇任(22)
				キャリアガイダンスⅢ	専任 専任 専任	教授 准教授 准教授	上條 恵右 高峰 野中 智博	平成21年4月 平成21年4月 平成22年4月	キャリアガイダンスⅢ	時間割配当の関係から担当者を変更(21) 時間割配当の関係から担当者を変更(21) 時間割配当の関係から担当者を変更(22)
				基礎数理学	専任 兼任	教授 講師	大塚 芳臣 松岡 孝	平成21年4月 平成22年4月	基礎数理学	より適任の担当者に変更(21) より適任の担当者に変更(22)
				情報処理基礎	兼任 専任	講師 准教授	亀井 圭史 高峰	平成21年4月 平成23年4月	情報処理基礎	より適任の担当者に変更(21) より適任の担当者に変更(23)

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称		
専任	准教授	高藤 圭一郎	平成21年4月	3DCAD入門Ⅰ	専任 教授	坂田 豊	平成21年4月	3DCAD入門Ⅰ	専任から兼任に変更(21)		
				3DCAD入門Ⅱ	専任 准教授	高峰	平成21年4月	3DCAD入門Ⅱ	より適任の担当者に変更(21)		
				3DCAD入門Ⅲ	専任 教授	坂田 豊	平成21年4月	3DCAD入門Ⅲ	より適任の担当者に変更(21)		
				業界動向	兼任 教授	井上 和	平成23年4月	業界動向	適正コマ数を考慮し担当者を非常勤へ変更(21)		
				3DCAD実践Ⅰ	専任 准教授	高峰	平成23年4月	3DCAD実践Ⅰ	より適任の担当者に変更(23)		
				流体シミュレーション	専任 准教授	野中 智博	平成22年4月	流体シミュレーション	H22新規採用予定教員の担当へ変更(21)		
				自動車工学	専任 助教	吉丸 将史	平成23年4月		より適任の担当者に変更(23)		
				デジタルものづくり入門	専任 教授	坂田 豊	平成21年4月	デジタルものづくり入門	専任から兼任に変更(21)		
					専任 教授	大塚 芳臣	平成21年4月				
					専任 教授	上條 恵右	平成21年4月				
	専任 教授	鷹尾 良行	平成21年4月								
	専任 准教授	野中 智博	平成22年4月		新規採用(22)						
	専任 助教	吉丸 将史	平成23年4月		専任が担当するため交代(23)						
専任	准教授	高藤 圭一郎	平成21年4月	ゼミナール	専任 教授	坂田 豊	平成23年4月	ゼミナール	専任から兼任に変更(21)		
					専任 教授	大塚 芳臣	平成23年4月				
					専任 准教授	高峰	平成23年4月				
					専任 教授	上條 恵右	平成23年4月				
					専任 教授	鷹尾 良行	平成23年4月				
					専任 准教授	野中 智博	平成23年4月		新規採用(22)		
					専任 助教	吉丸 将史	平成23年4月		専任が担当するため交代(23)		
				卒業研究Ⅰ	専任 教授	坂田 豊	平成24年4月	卒業研究Ⅰ	専任から兼任に変更(21)		
					専任 教授	大塚 芳臣	平成24年4月				
					専任 准教授	高峰	平成24年4月				
	専任 教授	上條 恵右	平成24年4月								
	専任 教授	鷹尾 良行	平成24年4月								
	専任 准教授	野中 智博	平成24年4月		新規採用(22)						
	専任 助教	吉丸 将史	平成24年4月		専任が担当するため交代(23)						
専任	准教授	上條 恵右	平成21年4月	卒業研究Ⅱ	専任 教授	坂田 豊	平成24年4月	卒業研究Ⅱ	専任から兼任に変更(21)		
					専任 教授	大塚 芳臣	平成24年4月				
					専任 准教授	高峰	平成24年4月				
					専任 教授	上條 恵右	平成24年4月				
					専任 教授	鷹尾 良行	平成24年4月				
					専任 准教授	野中 智博	平成24年4月		新規採用(22)		
					専任 助教	吉丸 将史	平成24年4月		専任が担当するため交代(23)		
				デジタルものづくり入門		教授					准教授から教授に昇任(22)
				ゼミナール							
				卒業研究Ⅰ							
卒業研究Ⅱ											
キャリアガイダンスⅠ	専任 教授	坂田 豊	平成21年4月	キャリアガイダンスⅠ	時間割配当の関係から担当者を変更(21)						
	専任 教授	鷹尾 良行	平成21年4月		適正人数を考慮し担当者を変更(23)						
	専任 准教授	吉永 秀之	平成23年4月								
キャリアガイダンスⅡ	専任 教授	坂田 豊	平成21年4月	キャリアガイダンスⅠ	時間割配当の関係から担当者を変更(21)						
	専任 教授	鷹尾 良行	平成21年4月								
	専任 准教授	吉永 秀之	平成23年4月		適正人数を考慮し担当者を変更(23)						
成形加工論	専任 准教授	野中 智博	平成22年4月	成形加工論	新規採用者への担当変更(22)						
材料工学	専任 准教授	野中 智博	平成22年4月	材料工学	新規採用者への担当変更(22)						
ものづくりワークショップⅠ	専任 教授	大塚 芳臣	平成21年4月	ものづくりワークショップⅠ	より適任の担当者に変更(21)						
	専任 教授	鷹尾 良行	平成21年4月								
	専任 教授	上條 恵右	平成23年4月								
	専任 助教	吉丸 将史	平成23年4月		適正人数を考慮し担当者を変更(23)						
専任	講師	池田 英広	平成21年4月						講師から准教授に昇任(21)		
									専任から兼任に変更(23)		
				キャリアガイダンスⅤ	専任 教授	大塚 芳臣	平成21年4月	キャリアガイダンスⅤ	時間割配当の関係から担当者を変更(21)		
					専任 助教	吉丸 将史	平成23年4月				
				メカトロニクス	専任 教授	上條 恵右	平成23年4月	メカトロニクス	より適任の担当者に変更(23)		
				次世代自動車工学	兼任 准教授	池田 英広	平成23年4月	次世代自動車工学	兼任として引き続き担当(23)		
				デジタルものづくり入門	専任 教授	坂田 豊	平成21年4月	デジタルものづくり入門	専任から兼任に変更(23)		
					専任 教授	大塚 芳臣	平成21年4月				
					専任 准教授	高峰	平成21年4月				
					専任 教授	上條 恵右	平成21年4月				
専任 教授	鷹尾 良行	平成21年4月									
	専任 准教授	野中 智博	平成22年4月		新規採用(22)						
	専任 助教	吉丸 将史	平成23年4月		専任が担当するため交代(23)						
ゼミナール	専任 教授	坂田 豊	平成23年4月	ゼミナール	専任から兼任に変更(23)						
	専任 教授	大塚 芳臣	平成23年4月								
	専任 准教授	高峰	平成23年4月								
	専任 教授	上條 恵右	平成23年4月								
	専任 教授	鷹尾 良行	平成23年4月								
	専任 准教授	野中 智博	平成23年4月		新規採用(22)						
	専任 助教	吉丸 将史	平成23年4月		専任が担当するため交代(23)						
専任	講師	池田 英広	平成21年4月		専任 教授	坂田 豊	平成24年4月		専任から兼任に変更(23)		
					専任 教授	大塚 芳臣	平成24年4月				
					専任 准教授	高峰	平成24年4月				

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
				卒業研究 I	専任	教授	上條 恵右	平成24年4月	卒業研究 I	新規採用(22) 専任が担当するため交代(23) 専任から兼任に変更(23)
					専任	教授	鷹尾 良行	平成24年4月		
					専任	准教授	野中 智博	平成24年4月		
					専任	助教	吉丸 将史	平成24年4月		
				卒業研究 II	専任	教授	坂田 豊	平成24年4月	卒業研究 II	
					専任	教授	大塚 芳臣	平成24年4月		
					専任	准教授	高峰	平成24年4月		
					専任	教授	上條 恵右	平成24年4月		
					専任	教授	鷹尾 良行	平成24年4月		
					専任	准教授	野中 智博	平成24年4月		
					専任	助教	吉丸 将史	平成24年4月		
				プロジェクト II	兼任	教授	池森 寛	平成21年4月	プロジェクト II	新規採用(22) 専任が担当するため交代(23) 時間割配当の関係から担当者を変更(21)
					兼任	教授	福田 順二	平成21年4月		
					兼任	教授	小田 徹	平成21年4月		
					兼任	講師	野瀬 秀拓	平成21年4月		
				組込みシステム	兼任	講師	亀井 圭史	平成21年4月	組込みシステム	より適任の担当者に変更(21)
				制御システム工学	専任	教授	上條 恵右	平成23年4月	制御システム工学	より適任の担当者に変更(23)
				デジタル制御	専任	教授	鷹尾 良行	平成23年4月	デジタル制御	より適任の担当者に変更(23)
										専任から兼任に変更(21)
専任	講師	亀井 圭史	平成21年4月	基礎プログラミング I	兼任	教授	大木 正彦	平成23年4月	基礎プログラミング I	より適任の担当者に変更(23)
				ハードウェア・ソフトウェア	専任	准教授	高峰	平成23年4月	ハードウェア・ソフトウェア	より適任の担当者に変更(23)
				XML	兼任	講師	亀井 圭史	平成21年4月	XML	専任から兼任へ変更(21)
				インテリジェントコントロール	兼任	講師	亀井 圭史	平成21年4月	インテリジェントコントロール	専任から兼任へ変更(21)
				ロボット制御工学	専任	教授	上條 恵右	平成21年4月	ロボット制御工学	より適任の担当者に変更(21)
					専任	教授	坂田 豊	平成21年4月		専任から兼任に変更(21)
					専任	教授	大塚 芳臣	平成21年4月		
					専任	准教授	高峰	平成21年4月		
					専任	教授	上條 恵右	平成21年4月	デジタルものづくり入門	
					専任	教授	鷹尾 良行	平成21年4月		
					専任	准教授	野中 智博	平成22年4月		
					専任	助教	吉丸 将史	平成23年4月		新規採用(22) より適任の担当者に変更(23)
					専任	教授	坂田 豊	平成23年4月		専任から兼任に変更(21)
					専任	教授	大塚 芳臣	平成23年4月		
					専任	准教授	高峰	平成23年4月	ゼミナール	
					専任	教授	上條 恵右	平成23年4月		
	専任	教授	鷹尾 良行	平成23年4月						
	専任	准教授	野中 智博	平成23年4月		新規採用(22) より適任の担当者に変更(23)				
	専任	助教	吉丸 将史	平成23年4月						
	専任	教授	坂田 豊	平成24年4月		専任から兼任に変更(21)				
	専任	教授	大塚 芳臣	平成24年4月						
	専任	准教授	高峰	平成24年4月						
	専任	教授	上條 恵右	平成24年4月	卒業研究 I					
	専任	教授	鷹尾 良行	平成24年4月						
	専任	准教授	野中 智博	平成24年4月		新規採用(22) より適任の担当者に変更(23)				
	専任	助教	吉丸 将史	平成24年4月						
	専任	教授	坂田 豊	平成24年4月		専任から兼任に変更(21)				
	専任	教授	大塚 芳臣	平成24年4月						
	専任	准教授	高峰	平成24年4月						
	専任	教授	上條 恵右	平成24年4月	卒業研究 II					
	専任	教授	鷹尾 良行	平成24年4月						
	専任	准教授	野中 智博	平成24年4月		新規採用(22)				
	専任	助教	吉丸 将史	平成24年4月		より適任の担当者に変更(23)				

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
										専任から兼任に変更(21) 兼任から専任に変更(23)
専任	助教	吉丸 将史	平成21年4月	キャリアガイダンスⅤ	専任	教授	大塚 芳臣	平成21年4月 平成23年4月	キャリアガイダンスⅤ	時間割配当の関係から担当者を変更(21) 適正人数を考慮し担当者を変更(23)
				ものづくり演習Ⅰ	専任	准教授	高峰	平成21年4月 平成23年4月	ものづくり演習Ⅰ	より適任の担当者に変更(21) 適正人数を考慮し担当者を変更(23)
				加工学概論	専任	准教授	上條 恵右	平成21年4月 平成22年4月	加工学概論	より適任の担当者に変更(21) より適任の担当者に変更(22)
				ものづくりワークショップⅠ デジタルものづくり入門 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専任	助教	吉丸 将史	平成23年4月 平成23年4月 平成24年4月 平成23年4月 平成23年4月	ものづくりワークショップⅠ デジタルものづくり入門 ゼミナール 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	兼任から専任に変更(23)
兼任	教授	赤司 信義	平成21年4月	プロジェクトⅠ						
兼任	教授	安部 晴男	平成21年4月	統合理工学Ⅰ 統合理工学Ⅱ 数値解析 現代科学入門	専任	教授				定年退職、引き続き兼任として担当(22)
				線形数学Ⅱ	専任	准教授	野中 智博	平成22年4月		より適任の担当者に変更(22)
兼任	教授	谷口 良明	平成21年4月	線形数学Ⅱ 統計学Ⅰ	兼任	教授	松本 好史	平成21年4月	線形数学Ⅱ	死亡退職により担当者を変更(21)
				統計学Ⅰ	兼任	講師	水谷 豊	平成22年4月	統計学Ⅰ	死亡退職により担当者を変更(21) より適任の担当者に変更(22)
				統計学Ⅰ	兼任	助教	松崎 和孝	平成22年4月	統計学Ⅰ	より適任の担当者に変更(22)
				統計学Ⅰ	兼任	講師	吉田 正見	平成22年4月	統計学Ⅰ	より適任の担当者に変更(22)
兼任	教授	松本 好史	平成21年4月	線形数学Ⅰ 解析学Ⅱ 応用数学Ⅰ	兼任	講師	松岡 孝	平成21年4月	解析学Ⅰ	より適任の担当者に変更(21)
				解析学Ⅰ	兼任	助教	松崎 和孝	平成22年4月	解析学Ⅰ	より適任の担当者に変更(22)
				解析学Ⅰ演習	兼任	講師	松岡 孝	平成21年4月	解析学Ⅰ演習	より適任の担当者に変更(21)
				解析学Ⅰ演習	兼任	助教	松崎 和孝	平成22年4月	解析学Ⅰ演習	より適任の担当者に変更(22)
兼任	教授	福田 順二	平成21年4月	プロジェクトⅠ						
兼任	教授	高城 実	平成21年10月	資源エネルギー プロジェクトⅡ	兼任	教授	池森 寛	平成21年4月	プロジェクトⅡ	時間割配当の関係から担当者を変更(21)
				プロジェクトⅡ	兼任	教授	福田 順二	平成21年4月	プロジェクトⅡ	
				プロジェクトⅡ	兼任	教授	小田 徹	平成21年4月	プロジェクトⅡ	
				プロジェクトⅡ	兼任	講師	野瀬 秀拓	平成21年4月	プロジェクトⅡ	
兼任	教授	永添 祥多	平成21年4月	総合人間科学 歴史学 日本文化と社会	兼任	講師	岡野亜希子	平成23年4月	総合人間科学	担当者退職のため兼任に変更(23)
				歴史学	兼任	教授	田代 武博	平成23年4月	歴史学	
				日本文化と社会	兼任	講師	中村 憲司	平成21年4月	日本文化と社会	より適任の担当者に変更(22)
兼任	教授	中村 憲司	平成21年4月	総合人間科学 環境と技術－技術者倫理－	兼任	講師	中村 憲司	平成21年4月	総合人間科学	退職後兼任として採用のため(21)
				環境と技術－技術者倫理－				平成21年10月	環境と技術－技術者倫理－	
兼任	教授	周 国云	平成22年10月	プロジェクトⅣ						
兼任	教授	皆川 重男	平成21年4月	総合社会科学 日本事情とビジネス プロジェクトⅢ	兼任	教授	堤 昌文	平成22年4月	プロジェクトⅢ	内容・適正人数を考慮し担当者を変更(22)
				プロジェクトⅢ	兼任	教授	赤司 信義	平成22年4月	プロジェクトⅢ	
				プロジェクトⅢ	兼任	教授	石川 誠	平成22年4月	プロジェクトⅢ	
兼任	准教授	吉永 秀之	平成21年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 英語A	専任	准教授	吉永 秀之	平成21年4月	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 英語A	兼任から専任に変更(23)
				英語A				平成23年4月	キャリアガイダンスⅠ キャリアガイダンスⅡ	
兼任	講師	竹中 知華子	平成21年4月	総合社会科学 日本事情とビジネス 環境と企業	兼任	教授	皆川 重男	平成22年4月	総合社会科学 日本事情とビジネス 環境と企業	より適任の担当者に変更(22)
兼任	講師	城戸 晴紀	平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ キャリアガイダンスⅣ 健康科学 体育Ⅰ 体育Ⅱ	専任	講師				兼任から専任に変更(21) 講師から准教授に昇任(22) 定年退職(23)
				キャリアガイダンスⅢ	専任	教授	上條 恵右	平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ	時間割配当の関係から担当者を変更(21)
				キャリアガイダンスⅢ	専任	准教授	高峰	平成21年4月	キャリアガイダンスⅢ	時間割配当の関係から担当者を変更(21)
				キャリアガイダンスⅢ	専任	准教授	野中 智博	平成22年4月	キャリアガイダンスⅢ	時間割配当の関係から担当者を変更(22)
				キャリアガイダンスⅣ	専任	教授	上條 恵右	平成21年4月	キャリアガイダンスⅣ	時間割配当の関係から担当者を変更(21)
				キャリアガイダンスⅣ	専任	准教授	高峰	平成21年4月	キャリアガイダンスⅣ	時間割配当の関係から担当者を変更(21)
				キャリアガイダンスⅣ	専任	准教授	野中 智博	平成22年4月	キャリアガイダンスⅣ	時間割配当の関係から担当者を変更(22)
				健康科学	兼任	講師	八板 昭仁	平成23年4月	健康科学	担当者退職のため変更(23)
				体育Ⅰ	兼任	講師	島屋 八生 野田 耕	平成23年4月	体育Ⅰ	担当者退職のため変更(23)
				体育Ⅱ	兼任	講師	八板 昭仁 木山 慶子 花田 道子	平成23年4月	体育Ⅱ	担当者退職のため変更(23)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目の名称	
兼任	講師	山縣 宏美	平成21年4月	総合人間科学 人間関係論 環境デザイン						
兼任	講師	江本 待子	平成22年10月	情報メディア論						
兼任	講師	瀧澤 信彦	平成22年4月	日本国憲法	兼任	講師	坂口 浩	平成22年4月	日本国憲法	担当者変更(22)
兼任	講師	ブラッド・バーカー	平成22年10月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	講師	ディールスティール	平成22年10月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	担当者変更(22)
兼任	講師	長谷川 基子	平成21年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語演習Ⅰ 日本語演習Ⅱ 日本語演習Ⅲ						
兼任	講師	中野 昌治	平成22年10月	環境と法	兼任	講師	原口 公子	平成22年4月	環境と法	より適任の担当者に変更(22)
兼任	講師	太田 有生夫	平成21年4月	環境学概論 環境と情報						

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	4	2	1	12	0	4	3	0	1	8	0	
(4)	(3)	(1)	(0)	(8)	(0)	[△1]	[△1]	[△2]	[0]	[△4]	[0]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	安部 晴男	定年退職 (H22. 3. 31)
2	准教授	城戸 晴紀	定年退職 (H23. 3. 31)
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

デジタルエンジニアリング学科の専任教員として予定していた教員を一部、総合システム工学科の専任教員として異動したが、計画されている授業科目の担当者は全て確保されており、学生の履修等への影響はないと判断される。また、教員の交代内容については授業時間割に反映されており、且つホームページによって学生へ周知を図っている。

また、平成21年度末で1名定年により退職したが、当該教員が非常勤講師として引き続き授業科目を担当しており、学生の履修等の影響はない。

更に、平成22年度から、当初計画より採用を予定していた専門性に富む専任教員を採用し、教育体制も強化されている。

また、城戸准教授（体育）の後任には、非常勤講師を新たに5人任用して対応している。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	工学部デジタルエンジニアリング学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。	平成21年度に開設したデジタルエンジニアリング学科の入学定員充足率については、21年度は0.69倍、22年度は0.66倍、23年度は0.6倍であった。このことを踏まえ、昨年度、学生満足度調査を実施した結果、学生の当該学科に対する満足度は非常に高く、学生の教育効果も出ていることから、第一期生の就職満足度を高めることにより当該学科の社会的な評価が得られるものと確信した。しかし、新入生の中には、学科の名称と内容に対する理解が十分でない者や、対外的に学科名称の知名度の低さなどが判明した。そのことを受け、当該学科の平成24年度の学生確保に向けた以下の取り組みを実施する計画である。 1. 全学体制でデジタルエンジニアリング学科の設置趣旨・目的・養成する人材像等を更に広報し、当該学科の社会に対する理解を深めることにより、入学者の定員確保を目指す。 2. 昨年度選定された「大学生の就業力育成支援事業」を最大限有効活用し、当該学科の教育内容の充実及び学生の就業力向上の実績をつくり、社会に周知する。 3. 大学生の就業力育成支援事業の一環として発足した地域人材育成機構（企業、行政、高等学校等で構成）と連携し更なる教育内容の充実を図ると共に学生確保並びに就職内定率の向上につなげる。 4. 上述の施策と並行して、経営協議会等で平成25年度以降の当該学科の定員のあり方について検討を行う。	

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 総合システム工学科>

<工学部 デジタルエンジニアリング学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること

本学では、教員の資質の維持向上に向けた取組を、自己点検評価活動を通じて行っていたが、これと合わせてFDに関する事項を主として扱う委員会として、FD委員会を設置している。

FD委員会では、主として、FD活動の企画立案、実施計画、評価、情報収集と提供などである。FD活動と連携した教員の資質の維持向上に向けた取組は、点検評価委員会で行われているので、これらを次に示す。

- | | |
|---------------------|---------------|
| ①授業改善等の教育活動 | 教育活動点検委員会 |
| ②学生相談・就職相談等のガイダンス活動 | 学生活動点検委員会 |
| ③研究活動 | 大学院・研究活動点検委員会 |
| ④特色づくり等の大学運営活動 | 学部・学科点検委員会 |
| ⑤地域貢献等の社会的活動 | 学部・学科点検委員会 |

【自己点検評価及びFDに関する委員会組織】

自己評価総括委員会	教学管理運営 総括的自己点検評価	
教学自己評価委員会	大学院・研究活動点検委員会	大学院・研究活動
	学部・学科点検委員会	点検作業部会 学部・学科
	教育活動点検委員会	教育改善等
	学生活動点検委員会	学生活動支援等
自己点検評価委員会	第三者的評価機関で、評価委員会の自己点検報告に基づいた評価を実施、自己評価総括委員会に提出	
FD委員会	FD活動の推進、評価、情報収集と提供など	

教学点検を総括する教学自己評価委員会、自己点検評価委員会、自己評価総括委員会を通じて、教育・研究活動の目標設定、改善策の基本方針の策定や、個別の授業改善等の指示・提案がなされている。また、点検委員会とは別に、独自にFD活動を推進し、評価等を行うこととしている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

○自己評価総括委員会

自己評価総括委員会 年度当初に教育目標や点検評価項目を提示。

学長、副学長、工学研究科長、教務部長、学生部長、工学部長、デザイン学部長、法人本部長

○教学自己評価委員会

教学自己評価委員会 前期、後期に各1回開催

学長、副学長、工学研究科長、教務部長、学生部長、工学部長、デザイン学部長

○各点検委員会担当委員

関連委員会担当次長、各学科委員1名

○FD委員会

副学長、学部長、学科長、事務局長、本部長、事務部長

c 委員会の審議事項等

○自己評価総括委員会、教学自己評価委員会

- ・中長期計画の策定について
- ・各年度の重点点検項目の策定について
- ・学生による授業評価アンケートの実施
- ・授業評価アンケート結果の取り扱い
- ・FD研修会の実施について
- ・点検評価活動の基本計画について
- ・点検評価活動について
- ・教学運営に関する点検について
- ・学部設置等に関する履行状況について

○教育研究活動点検等について

- ・点検作業部会の審議内容、
- ・アンケート項目作成等の具体的点検方法、点検実施後の集約、分析、整理等。
- ・大学院教員資格審査、研究活動等。

○FD委員会

- 平成22年度のFD活動計画について
- 平成22年度FD研修会の実施について
- DP、CP、APの見直しについて
- キャリアガイダンスに関する教育研究の取り組みについて

② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

a 実施内容

FDの全学的取組は、以前から取り組まれ、毎年研修内容を変えて、取り組まれている。
平成22年度についての内容を以下に記す。

平成22年度

1. 研修会(8月9日)

- (1) 講演「発達障害のある学生の理解と支援について」
講師：北九州市発達障害者支援センター 相談員 倉知芳明氏

2. FD研修会(9月29日)

- (1) 本学キャリア教育の取組について
(2) DP・CP・APの点検について
(3) 学習ポートフォリオの活用について

3. FD研修会(3月26日)

- (1) キャリアガイダンスに関する教育研究(各学科・系の教育から取組発表)
(2) 重点目標自己申告票について

4. 大学院教員資格審査会

5. 学生による授業評価アンケートの実施 前期、後期 各1回

6. 重点目標自己申告票(自己点検評価報告書) 4月目標提出、10月中間報告、3月最終報告、業績評価

7. 学生満足度調査(改革検討委員会) 7月・1月実施

b 実施方法

1. 研修会、講習会

自己評価総括委員会、または、関係委員会からの提案に基づき、学務研究協議会で取り扱いを協議し、全学的研修会として開催している。対象は全教員である。

2. 大学院教員資格審査会

大学院教員としての指導担当教員資格審査として、前期末に実施。業績報告書、自己点検報告書、により、審査を行っている。

3. 学生による授業評価アンケートの実施

設問項目の変更、結果の取り扱いを教学自己評価委員会で審議し、前期、後期各1回の実施としている。アンケート結果をもとに4年毎に授業改善結果の経年的評価を行っている。

4. 重点目標自己申告票(自己点検評価報告書)の作成・提出

毎年度、4月に大学、学部、学科、系・コースの目標に沿って、教員個々が具体的目標を作成し、学科長を経て学長に提出、10月に前期段階での中間達成状況の報告書を作成・提出、また、年度末に最終目標達成状況の報告書を作成・提出している。

5. 学生満足度調査の実施

学長の諮問委員会として設置した改革検討委員会により、学生満足度調査を全学生を対象に7月と1月の2回実施。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

1. FD研修会、講習会

FD研修会は、毎年3回実施し、前期に2回、後期に1回実施している。
全教員を対象として実施し、毎年、全教員60名の内、80%以上の教員が参加している。
講習会は、e-Learningの活用法など、FD研修会とは別に、必要に応じて随時開催している。

2. 大学院教員資格審査会

毎年1回実施。資格審査を義務化していないが、ほとんど全員が審査を受けている。

3. 学生による授業評価アンケートの実施

専任教員、非常勤教員の全員の必修科目1科目を前期と後期に実施している。
担当必修科目がない場合は、受講者の多い選択科目をアンケート対象科目としている。

4. 重点目標自己申告票(自己点検評価報告書)の作成・提出

専任教員のみを対象に義務づけている。従って、提出率は100%。
学科長による面談も、全員義務化している。

5. 学生満足度調査の実施

1・2年生は必修科目であるキャリアガイダンス、3・4年次はゼミナール、卒業研究指導で実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. FD研修会、講習会
FD研修会と講習会は、本学の教育目標達成に向けて共通認識を得る上で重要であり、全員が参加できるよう、時間調整を行って実施され、授業改善に反映するよう、取り組まれている。
2. 大学院教員資格審査会
教員の資質向上の取組として、定常的に実施されている。
審査会では、研究活動だけでなく、教育活動報告にも基づいて、資格審査を行っている。
3. 学生による授業評価アンケートの実施
アンケートは各学期の中間時期に実施され、アンケート結果を学生に伝え、授業改善措置が当学期内にとれるようにしている。
また、平成23年度からは、全授業を対象として実施予定である。
アンケート結果の評価が著しく低い場合、学長からの改善指示・提案がなされている。
4. 重点目標自己申告票(自己点検評価報告書)の作成・提出
教育活動、研究活動など、目標達成度が著しく低い場合、学長からの改善指示・提案がなされている。
5. 学生満足度調査の実施
調査結果については、改革検討委員会で集計・分析の上、9月のFD研修会及び3月の教授会で報告を行い、学生のニーズや意識、また学年、学科での傾向等を把握し、教育活動の参考としている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
別紙のとおり
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
・平成25年5月1日 公表予定
 - b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定(平成25年度を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成26年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受ける予定。

(注) ・ 届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成 2 1 年 7 月 3 1 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www3.nishitech.ac.jp/guidance/post_76.html)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(A) 設置の趣旨・目的

本学は、十分な基礎学力を身に付け、幅広い社会・科学等の知識を持った職業人育成に重点を置き、地域の活性化に貢献し、地域と共存しながら発展すると共に、地域に愛され地域にとって必要不可欠な大学としての特色を発揮すること、また地域の高等教育機関としてその存在意義を確立することを目指している。このため、工学部では、自動車産業が集積する当該地域社会等のニーズを踏まえ、工学部の全3学科（機械システム工学科、電気電子情報工学科、環境建設学科）を総合システム工学科とデジタルエンジニアリング学科の2学科に改組した。新工学部は、今までの工学教育に加え、一昨年度から工学部に導入し文部科学省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」にも選定された環境ESDプログラムを通して、環境や省エネ・省資源教育を強化すると共に、地域のニーズに応える人材を育成することを目標としている。

総合システム工学科では、個々の要素を学ぶだけでなく製作する製品あるいはシステム全体を総合的に考える技術者、さらに、著しく進歩発展を続ける科学技術の世界で変化にすばやく適応できる技術者を育成する。即ち、幅広い見識と新しいものに対する関心・興味を持ち、新しい科学技術分野においても必要に応じ自ら学ぶことのできる最低限の基礎学力と知識を身につけた若者を育てる。そのため、機械工学系・電気工学系・情報システム系・環境建設系の4つの専門分野の中から学生が選択する一つの専門分野について十分教育を行い、加えて当該専門分野以外を自学するのに必要な最低限度の幅広い基礎知識を学ばせる。このことによって技術の変化に適応できる柔軟な技術応用能力を持った技術者を育てる。

デジタルエンジニアリング学科では、デジタルエンジニアリングに関する実践的専門職業人を養成する。すなわち、製造業における職場全体の共通基盤となる3次元CAD技術をコア・カリキュラムとした専門教育課程を編成することにより、3次元CADを中核として知識を効果的に活用する実践的専門性を持った人材を育てる。

(B) 趣旨・目的の達成状況

工学部では、上記の目的を達成するために、幅広い知識を学ばせさらに学士力向上を図るようにした人間・社会科学、語学及びキャリアガイダンスからなる総合教育科目及び総合共通科目と環境系科目、省エネ・省資源科目及び数学・科学・情報系科目からなる学部共通科目の内、1年次の開講科目を申請時の予定通り全て開講し、受講学生への教育、成績評価及び単位認定まで適切且つ効果的に実施された。また、昨年度は工学部の取り組みとして文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に選定されており、より社会や地域企業のニーズに応える人材の育成と産官学による人材育成プログラムの構築を推進する計画である。

総合システム工学科では、上記の目的を達成するために、4つの系がそれぞれ以下の教育課程を編成し実施している。すなわち、機械工学系では、エンジニアとしての素養と素質を備え、機械工学の基礎を十分に修得した実務型技術者を養成することを目的とした専門教育科目を、電気工学系では、電気工学および電子工学分野の専門知識と情報技術を修得させ、社会の第一線で活躍できる電気電子系実務技術者を育成することを目的とした専門教育科目を、情報システム系で

は、情報工学の専門知識と組込みソフトウェアなどの開発に必要なハードウェアの理解に必要な電気工学および電子工学の基礎知識を修得させ、社会の第一線で活躍できる実務型情報技術者を育成することを目的とした専門教育科目を、環境建設系では、安全で快適な都市や地域づくり、都市景観整備、生活環境整備や防災等に関わる知識・技術を修得し、技術の変化に対応できる柔軟な技術応用力を備えた実務型の技術者を養成することを目的とした専門教育科目を、1年次に計画された科目を全て開講し、受講学生への教育、成績評価及び単位認定まで適切且つ効果的に実施された。また、総合システム工学科では高等学校教諭一種免許（工業）、高等学校教諭一種免許（情報）高等学校教諭一種免許（数学）及び中学校教諭一種免許（数学）の教職科目を予定通り全て開講している。学生には、志望するそれぞれの専門分野の教科を履修モデルに従って履修するように指導した。この様に、申請時の教育課程をそのまま展開しており、現在、学年進行で3年目を迎えているが、教育においては申請時に掲げた趣旨・目的が確実に実施され、所期の目標を十分達成できたと評価できる。

デジタルエンジニアリング学科では、上記の目的を達成するための教育課程を編成し実施している。すなわち、製造業における仕事現場視点の取り込みによる実践的かつ即戦力となる技術者の養成に力点を置き、3次元CADシステムを活用して製品の企画から設計・製造まで一貫して仕事を遂行できる実践的技術者を育成することを目的とした専門教育科目を申請時の予定通り全て開講し、受講学生への教育、成績評価及び単位認定まで適切且つ効果的に実施された。また、高等学校教諭一種免許（工業）の教職科目を開講した。学生には、志望する専門分野の教科を履修モデルに従って履修するように指導した。この様に、申請時の教育課程をそのまま展開しており、現在、3年目を迎えているが、申請時に掲げた趣旨・目的が確実に実施され、所期の目標を十分達成できたと評価できる。なお、デジタルエンジニアリング学科については、開設当初から3年連続で入学定員を充足できておらず、平成22年度の履行状況調査において留意事項が付された。しかし、昨年度実施した学生満足度調査の結果については、学生の当該学科に対する満足度は非常に高く、学生の教育効果も出ていることから、第一期生の就職満足度を高めることにより当該学科の社会的な評価が得られるものと確信している。しかし、新入生の中には、学科の名称と内容に対する理解が十分でない者や、対外的に学科名称の知名度の低さなどが判明した。そのことを受け、全学体制でデジタルエンジニアリング学科の設置趣旨・目的・養成する人材像等を更に広報し、当該学科の社会に対する理解を深めることにより、入学者の定員確保を目指すこと、また、上述の「大学生の就業力育成支援事業」を最大限有効活用し、当該学科の教育内容の充実及び学生の就業力向上の実績をつくり、社会に周知すること、更に「大学生の就業力育成支援事業」の一環として発足した「地域人材育成機構（企業、行政、高等学校等で構成）」と連携し更なる教育内容の充実を図ると共に学生確保並びに就職内定率の向上につなげること等を実施する計画である。

西日本工業大学自己点検・評価規程

最終改正 平成22年5月26日

(目的)

第1条 この規程は、西日本工業大学(以下「本学」という。)における教育研究活動等の状況について、自己点検・評価を円滑かつ効果的に実施するために必要な事項を定めることを目的とする。

(自己点検・評価の意義)

第2条 本学は、自ら教育理念の実践と社会的使命及びその責任を自覚し、絶えず自己の教育研究活動等について検証することにより、現状の問題点を明らかにするとともに、その改善の方向を明確にし、組織的かつ継続的に改善改革を積極的に進め、本学の教育研究水準の向上及び教育研究組織の活性化を図り、もって特色ある大学づくりを目指すものである。

(自己点検・評価の組織)

第3条 本学は、全学的な自己点検・評価を行うため、自己評価総括委員会(以下「総括委員会」という。)を置く。

2 前項の総括委員会のもとに、教学に関する自己評価を行う教学自己評価委員会及び管理運営に関する自己評価を行う管理運営自己評価委員会を置く。

3 前項の教学自己評価委員会のもとに、点検作業部会として大学院・研究活動点検委員会、学部・学科点検委員会、教育活動点検委員会、学生活動点検委員会及び図書館点検委員会を置く。

4 第2項の管理運営自己評価委員会のもとに、点検作業部会として施設設備点検委員会、組織点検委員会及び財政点検委員会を置く。

5 前各項の委員会点検・評価した結果を第三者的に評価を行う自己点検評価委員会を置く。

(総括委員会)

第4条 総括委員会は、次の者をもって構成し、委員長は学長の職にある者を充てる。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 工学研究科長
- (4) 教務部長、学生部長
- (5) 工学部長、デザイン学部長
- (6) 事務局長、法人本部長

2 総括委員会は、委員長が召集し、議長となる。

3 委員長に事故ある場合は、委員長の指名する委員がその職務を代行する。

4 総括委員会は、委員の3分の2以上の出席により成立し、議決は委員の意向を尊重して委員長がこれを決する。

5 委員長が必要と認めた場合は、委員会の議を経て委員以外の者を出席させることができる。

6 総括委員会は、次に掲げる任務を遂行する。

- (1) 教学自己評価委員会及び管理運営自己評価委員会の統括に関すること。
- (2) 自己点検・評価の実施及び評価の公表等総括的な基本方針に関すること。
- (3) 大学運営機構及び組織の点検・評価に関すること。
- (4) 総括委員会の点検・評価に関すること。
- (5) 総括的改善策の基本方針策定に関すること。
- (6) その他教学及び管理運営自己評価委員会の連絡調整に関すること。

(教学自己評価委員会)

第5条 教学自己評価委員会は、次の者をもって構成し、委員長は学長の職にある者を充てる。

- (1) 学長

- (2) 副学長
 - (3) 工学研究科長
 - (4) 教務部長、学生部長
 - (5) 工学部長、デザイン学部長
- 2 教学自己評価委員会は、委員長が召集し、議長となる。
- 3 委員長に事故ある場合は、委員長の指名する委員がその職務を代行する。
- 4 教学自己評価委員会は、委員の3分の2以上の出席により成立し、議決は委員の意向を尊重して委員長がこれを決する。
- 5 委員長が必要と認めた場合は、委員会の議を経て委員以外の者を出席させることができる。
- 6 教学自己評価委員会は、総括委員会の方針を受けて、次の任務を遂行する。
- (1) 教学に関する点検・評価実施の基本方針に関すること。
 - (2) 点検・評価の項目設定及び点検実施項目の選択に関すること。
 - (3) 建学の理念及び教育方針等基本事項の点検・評価に関すること。
 - (4) 教学自己評価委員会の点検・評価に関すること。
 - (5) 教学に関する点検・評価結果のとりまとめ及び公表に関すること。
 - (6) その他点検委員会の連絡調整に関すること。
- (管理運営自己評価委員会)

第6条 管理運営自己評価委員会は、次の者をもって構成し、委員長は事務局長の職にある者を充てる。

- (1) 事務局長、法人本部長
 - (2) 事務部長
 - (3) 各課・室長及び参事
- 2 管理運営自己評価委員会は、委員長が召集し、議長となる。
- 3 委員長に事故ある場合は、あらかじめ委員長の指名した者が委員会を招集し、議長の職務を代行する。
- 4 管理運営自己評価委員会は、委員の3分の2以上の出席により成立し、議決は委員の意向を尊重して委員長がこれを決する。
- 5 委員長が必要と認めた場合は、委員会の議を経て委員以外の者を出席させることができる。
- 6 管理運営自己評価委員会は、総括委員会の方針を受けて、次の任務を遂行する。
- (1) 管理運営に関する点検・評価実施の基本方針に関すること。
 - (2) 点検・評価項目の設定及び点検実施項目の選択に関すること。
 - (3) 管理運営自己評価委員会の点検・評価に関すること。
 - (4) 管理運営に関する点検・評価結果のとりまとめ及び公表に関すること。
 - (5) その他点検委員会の連絡調整に関すること。
- (点検委員会の構成及び任務)

第7条 点検委員会は、点検項目に応じ、原則として次の委員及び部署で構成する。

- (1) 大学院・研究活動点検委員会 工学研究科運営委員会委員、研究センター運営委員会委員
 - (2) 学部・学科点検委員会 工学部長、デザイン学部長、各学科長
 - (3) 教育活動点検委員会 教務委員会委員
 - (4) 学生生活動点検委員会 学生委員会委員
 - (5) 図書点検委員会 図書・紀要委員会委員
 - (6) 組織点検委員会 総務部 関係課・室長
 - (7) 施設設備点検委員会 総務部 関係課・室長
 - (8) 財政点検委員会 財務室 関係課・室長
- 2 教学及び管理運営自己評価委員会は、点検項目等の必要に応じて、前項以外の既設の委員会、教室及び各部、課、室に点検委員会の任務を委嘱することができる。
- 3 点検委員会は、教学及び管理運営自己評価委員会の方針を受けて、次の任務を遂行する。
- (1) 教学及び管理運営自己評価委員会の要請に基づく点検・調査・集計の実施に関すること。

- (2) 点検・調査の資料及び集計データの整理に関すること。
- (3) 集計結果のとりまとめ及びコメントの作成に関すること。
- (4) 教学及び管理運営自己評価委員会への点検結果の報告に関すること。

(自己点検評価委員会)

第8条 自己点検評価委員会は、次の者をもって構成し、委員長は工学研究科長の職にある者を充てる。

(自己点検・評価結果の報告及び公表)

- (1) 工学研究科長
- (2) 原則として各学科から推薦された者各1名

第9条 自己点検・評価の項目は、原則として別表(財団法人大学基準協会大学基準)のとおりとする。

- 2 総括委員会及び教学・管理運営両委員会は、毎年4月、当年度に行う点検・評価項目を選定し、原則として4年間ですべての項目について点検・評価を行うものとする。
- 3 自己点検・評価項目の見直しについては、総括委員会及び教学・管理運営両評価委員会において行うものとする。

(自己点検・評価結果の報告及び公表)

第10条 教学及び管理運営自己評価委員会は、毎年度末、それぞれの委員会で実施した点検・評価結果について問題点及びその改善策を添え、報告書にまとめて自己点検評価委員会に提出するものとする。

- 2 総括委員会は、教学及び管理運営自己評価委員会の報告に自己点検評価委員会の評価を踏まえ、教授会、評議員会及び理事会に総括報告をするものとする。
- 3 各点検及び評価委員会で作成された報告書については、自己点検評価委員会が年度報告書としてとりまとめるものとする。
- 4 自己点検・評価結果の公表については、教学及び管理運営自己評価委員会の意見に基づき、総括委員会の議を経て、必要に応じて学内外に報告書を配布することができるものとする。
- 5 大学全体を総括した自己点検・評価結果については、総括委員会の責任のもとに、自己点検評価委員会において、7年ごとに「学園白書」としてまとめるものとする。

(評価結果の活用)

第11条 本学は、自己点検・評価の結果を踏まえ、第2条の目標達成のため教育研究活動及び教育研究組織の改革・改善に積極的に努めるものとする。

- 2 総括委員会及び教学・管理運営両委員会は、自己点検・評価の結果を踏まえ、点検・評価の組織体制、実施項目、実施方法及び評価結果の活用について定期的に見直し、改善に努めるものとする。
- 3 学長は、自己点検・評価の結果を本学の短期、中期及び長期の将来計画に反映させることに努めるものとする。

(委員の任期)

第12条 各委員会委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合は、新たに推薦された者をもって補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(事務)

第13条 総括委員会及び管理運営自己評価委員会の事務は、総務部が所管し、教学自己評価委員会の事務は学務部、自己点検評価委員会の事務は総務部が所管する。

- 2 各点検委員会の事務は、任務を委嘱された各委員会の事務所管課、各部、課、室が担当する。なお、学部・学科点検委員会のうち、デザイン学部及び建築学科並びに情報デザイン学科に係る事務は、デザイン学部事務室が担当する。

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、総括委員会の議を経て、教授会で決定する。

附 則

- 1 この規程は、平成5年4月22日から施行する。
- 2 この規程は、平成5年5月27日から施行し、平成5年4月22日から適用する。
- 3 この規程は、平成5年12月1日から施行する。
- 4 この規程は、平成6年4月1日から施行する。
- 5 この規程は、平成16年10月1日から施行する。
- 6 この規程は、平成18年4月1日から改正施行する。ただし、第10条第5項に定める学園白書のと
りまとめ期間に係る改正は、平成19年4月1日から適用する。
- 7 この規程は、平成19年4月1日から改正施行する。
- 8 この規程は、平成22年4月1日から改正施行する。
- 9 この規程は、平成22年5月26日から改正施行し、平成22年4月1日から適用する。

西日本工業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規則

最終改正 平成 22 年 11 月 25 日

(趣旨)

第 1 条 この規則は、西日本工業大学及び西日本工業大学大学院の教育理念及び教育目標に基づいて行う教員の教育改善・向上に係る活動を支援することを目的とする西日本工業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会（略称「FD 委員会」、以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定めるものである。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) FD 活動の企画立案
- (2) FD 活動の実施計画の立案
- (3) FD 活動の評価
- (4) FD 活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、以上に関連する一切の事項

(構成)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 委員長
- (2) 工学研究科長
- (3) 工学部長、デザイン学部長、各学科長
- (4) 事務局長、法人本部長、学務事務部長
- (5) その他委員長が必要と認めた者

(委員長)

第 4 条 委員会の委員長は、学長が指名する。

2 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名した委員が、職務を代行する。

(会議)

第 5 条 委員会は、委員長が召集しその議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数の同意により決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めた場合、委員以外の教職員に会議への出席を求めることができる。

(委員の代理)

第 6 条 第 3 条第 2 号の委員に事故あるときは、あらかじめ委員長の承認を得て、代理の者を出席させることができる。

(開示)

第 7 条 委員会は、その活動状況を開示しなければならない。

(規則の改廃)

第 8 条 この規則の改廃は、委員会の議を経て、教授会で決定する。

付 則

- 1 この規則は、平成 21 年 10 月 1 日から施行し、平成 21 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から改正施行する。
- 3 この規則は、平成 22 年 11 月 25 日から施行し、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。